平成２０年度

教育委員会の事務の管理及び執行状況に係る点検・評価報告書

平成２２年３月

遠野市教育委員会

目　　次

１　はじめに　……1
２　教育委員会活動の取り組み　……1
　(1)　遠野市教育委員会委員名簿　……1
　(2)　教育委員会会議の開催状況　……1
　(3)　教育委員会会議の審議及び協議状況　……1
　　ア　教育委員会定例会・臨時会　……1
　　イ　教育委員会委員協議会　……4
　(4)　教育委員会会議以外の活動状況　……4
３　教育委員会事務の実施状況と点検・評価　……5
　(1)　政策別実施事業の成果と課題　……6
　　ア　健康づくりの推進　……6
　　イ　ふるさと教育の推進　……7
　　ウ　生涯学習の推進　……15
　　エ　ふるさとの文化の継承・創造　……17
　(2)　行政評価（点検・評価）　……19
　　ア　行政評価の取組状況　……19
　　イ　まちづくり指標（総合計画前期基本計画）の点検・評価　……20
　　ウ　事務事業の点検・評価　……20
　　エ　外部評価の結果　……21
資料編　……24
　資料１　平成20年度総合計画前期基本計画まちづくり指標（教育委員会31指標）
　　実績一覧表　……26
　資料２　平成20年度事務事業行政評価（教育委員会97事務事業）集計表　……30
　資料３　平成20年度事務事業成果説明書　……36
　別冊(1) 遠野市立中学校再編成計画（案）
　別冊(2) 遠野市教育振興基本計画（平成21年度～27年度）
　　～『学び・文化』夢づくりプラン～

1　はじめに

平成20年度から「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の改正（平成20年４月１日）により、各教育委員会において、前年度の教育行政事務の管理及び執行の状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することが規定されました。

この報告書は「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第27条第１項の規定に基づくものであり、昨年度同様に、前年度（平成20年度）の教育委員会活動を振り返るとともに、点検・評価にあたっては、既に点検・評価を実施し、議会への報告や公表がされている行政評価（遠野市総合計画前期基本計画のまちづくりと全事務事業の点検・評価）及び「地方自治法第 233条に規定する決算に係る主要な施策の成果を説明する書類（平成21年９月提出）」 の教育委員会部分を整理して取りまとめたものである。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第27条　教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第１項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第３項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

２　教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2　教育委員会活動の取り組み

（1）遠野市教育委員会委員名簿

(平成20年度在職)

職　　名	氏　　名
委　員　長	浅　沼　敬　治
委員長職務代理者	似　内　宏　和
委　　員	佐々木　るみ子
委　　員	角　田　直　樹
委員（教育長）	及　川　増　徳

（2）教育委員会会議の開催状況

教育委員会会議については、教育委員会定例会（毎月１回）及び教育委員会臨時会を、平成20年度は合計で16回開催しました。

また、随時、教育委員会委員協議会を実施しています。

○　教育委員会定例会……12回
○　教育委員会臨時会……４回
○　教育委員会委員協議会…８回

（3）教育委員会会議の審議及び協議状況

ア 教育委員会定例会・臨時会

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条及び「遠野市教育長に対する事務委任規則」第２条に規定する事務のうち、教育委員会定例会及び臨時会で審議した案件は、平成20年度は合計で36件です。

【議案の性質別件数】

分　類	項　　目	件　数
1	教育行政の運営に関する基本方針を定めること	2
2	教育委員会の規則及び訓令の制定又は改廃に関すること	18
3	教科書その他教材の取扱いに関すること	1
4	議会の議決を経るべき議案について意見を申し出ること	1
5	職員の人事に関すること	8
6	法令又は条例に定めのある附属機関の委員の委嘱に関すること	4
7	表彰に関すること	1
8	教育委員会の事務の管理及び執行状況に係る点検及び評価に関すること	1
計		36

【平成20年度教育委員会会議議案一覧】

議案番号	件　　名	提出日	決議	分類
平成20年４月定例会				
22	遠野市奨学生選考委員会委員の委嘱の専決処理に関し承認を求めることについて	平成20年４月30日	承認	6
平成20年７月定例会				
23	遠野市民センター運営協議会委員の委嘱の専決処理に関し承認を求めることについて	平成20年７月31日	承認	6
24	平成21年度使用小学校教科用図書の採択に関し議決を求めることについて	平成20年７月31日	可決	3
平成20年８月定例会				
25	平成20年度遠野市教育委員会表彰の受賞者に関し議決を求めることについて	平成20年８月29日	可決	7
平成20年９月臨時会				
26	平成20年10月１日付け定期人事異動の基準等（事務局職員等）に関し議決を求めることについて	平成20年９月24日	可決	5
27	平成20年10月１日付け定期人事異動（事務局職員等）に関し議決を求めることについて	平成20年９月24日	可決	5
平成20年９月定例会				
28	遠野市教育委員会行政組織規則の一部を改正する規則の制定に関し議決を求めることについて	平成20年９月30日	可決	2
29	遠野市民センター所長等に対する事務委任規則の一部を改正する規則の制定に関し議決を求めることについて	平成20年９月30日	可決	2
30	遠野市立学校職員の勤務時間等に関する規則の一部を改正する規則の制定に関し議決を求めることについて	平成20年９月30日	可決	2
31	遠野市教育委員会専決代決規程の一部を改正する訓令の制定に関し議決を求めることについて	平成20年９月30日	可決	2
平成20年10月定例会				
32	遠野市就学指導委員会委員の委嘱及び解任の専決処理に関し承認を求めることについて	平成20年10月27日	承認	6

議案番号	件　　名	提出日	決議	分類
平成20年11月定例会				
33	遠野市民センター管理運営規則（教育委員会）の一部を改正する規則の制定に関し議決を求めることについて	平成20年11月26日	可決	2
平成20年12月臨時会				
34	遠野市教育に関する事務の職務権限の特例に関する条例の制定に関する意見について	平成20年12月５日	可決	4
平成20年12月定例会				
35	平成21年度における遠野市立小中学校教職員に係る定期人事異動方針の専決処理に関し承認を求めることについて	平成20年12月19日	承認	5
36	遠野市学校給食運営審議会委員の委嘱及び解任の専決処理に関し承認を求めることについて	平成20年12月19日	承認	6
平成21年１月定例会				
1	平成21年４月１日付け定期人事異動の基準等（事務局職員等）に関し議決を求めることについて	平成21年１月30日	可決	5
平成21年２月定例会				
2	平成21年度遠野市教育行政推進の基本方針に関し議決を求めることについて	平成20年２月17日	可決	1
平成21年２月臨時会				
3	平成21年度教職員定期人事異動の内申に関し議決を求めることについて	平成21年２月27日	可決	5
平成21年３月臨時会				
4	平成21年度教職員定期人事異動の内申の専決処理に関し承認を求めることについて	平成21年３月17日	承認	5
5	平成21年度定期人事異動（事務局職員等）に関し議決を求めることについて	平成21年３月17日	議決	5
6	職員の懲戒処分に関し議決を求めることについて	平成21年３月17日	議決	5
平成21年３月定例会				
7	教育委員会の事務の管理及び執行状況に係る点検及び評価に関し議決を求めることについて	平成21年３月26日	可決	8
8	遠野市教育委員会の権限に属する事務の一部の委任及び補助執行に関する規則の一部を改正する規則の制定について	平成21年３月26日	可決	2
9	遠野市教育委員会行政組織規則の一部を改正する規則の制定について	平成21年３月26日	可決	2
10	遠野市民センター所長等に対する事務委任規則の一部を改正する規則の制定について	平成21年３月26日	可決	2
11	遠野市立学校職員の勤務時間等に関する規則の一部を改正する規則の制定について	平成21年３月26日	可決	2
12	遠野市立小中学校管理運営規則の一部を改正する規則の制定について	平成21年３月26日	可決	2
13	遠野市立幼稚園管理運営規則の一部を改正する規則の制定について	平成21年３月26日	可決	2

議案番号	件　　名	提出日	決議	分類
14	遠野市民センター管理運営規則（教育委員会）の全部を改正する規則の制定について	平成21年３月26日	可決	2
15	遠野市視聴覚ライブラリー規則等を廃止する規則の制定について	平成21年３月26日	可決	2
16	遠野市教育委員会専決代決規程の一部を改正する訓令の制定について	平成21年３月26日	可決	2
17	遠野市教育長の権限に属する事務の委任に関する規程の一部を改正する訓令の制定について	平成21年３月26日	可決	2
18	遠野市教育委員会公印規程の一部を改正する訓令の制定について	平成21年３月26日	可決	2
19	遠野市教育委員会事務局職員等被服貸与規程の一部を改正する訓令の制定について	平成21年３月26日	可決	2
20	遠野市立学校職員の服務規程の一部を改正する訓令の制定について	平成21年３月26日	可決	2
21	遠野市教育振興基本計画の策定に関し議決を求めることについて	平成21年３月26日	可決	1

イ 教育委員会委員協議会

主要な施策や事業等については、その状況や内容を報告、説明し、協議を行いました。中学校再編成については、平成20年７月23日の協議会で計画原案を、平成20年10月27日の協議会で計画案をそれぞれ確定しました。平成20年度の協議件数は合計９件です。

番　号	件　　名	協議日
1	遠野市立中学校再編成について	平成20年５月30日
2	遠野市立中学校再編成について	平成20年６月27日
3	遠野市立中学校再編成計画（原案）について 【遠野市立中学校再編成計画原案確定】	平成20年７月23日
4	遠野市教育振興基本計画について	平成20年７月31日
5	遠野市立中学校再編成計画（案）について 【遠野市立中学校再編成計画案確定】	平成20年10月27日
6	遠野市教育振興基本計画について	平成20年10月27日
7	遠野市行政組織再編成について	平成20年11月26日
8	平成21年度学校給食費改定について	平成20年12月19日
9	平成21年度主要事業について	平成21年２月17日

（４）教育委員会会議以外の活動状況

教育委員会委員は、教育委員会会議への出席以外に、市議会、学校訪問、中学校再編成計画案説明会、各種行事等に出席しました。

○　市議会

・本会議（委員長、教育長）

・予算等審査特別委員会、決算特別委員会、議員全員協議会（教育長）

○　学校訪問

・学校懇談会（平成20年６月…綾織小学校、10月…宮守中学校）

・学校公開研究会（平成20年７月…遠野北小学校、11月…遠野中学校）
・遠野旬を食べよう給食（平成20年６月、８月、10月、12月）

○　中学校再編成
・遠野市立中学校再編成計画案小中ＰＴＡ説明会及び市民説明会（平成20年11月～12月　計18回）
・市議会「教育委員から意見を聞く会」（平成21年２月）

○　岩手県市町村教育委員会協議会等関係団体
・岩手県市町村教育委員会教育長会議（平成20年４月）
・東北都市教育長協議会定期総会及び研修会（４月）
・全国都市教育長協議会定期総会及び研究大会（５月）
・岩手県市町村教育委員会協議会総会（５月）
・東北六県市町村教育委員会連合会教育委員・教育長研修会（７月）
・岩手県市町村教育委員会協議会教育長部会会議（10月）
・岩手県市町村教育委員会協議会委員長部会会議（10月）
・岩手県市町村教育委員会協議会臨時総会及び委員研修会（平成21年２月）等

○　各種行事
・教育委員会４月１日付け定期人事異動辞令交付式（平成20年４月）
・小中学校教職員着任式（４月）・小中学校入学式（４月）
・市立小中学校長及び教頭合同会議（４月）・愛知県大府市教育委員会委員視察研修（６月）
・教育委員会退職者辞令交付式（９月）・教育委員会勤続功労者表彰式（10月）
・教育委員会10月１日付け定期人事異動辞令交付式（10月）・中高生と語る会（11月）
・教育委員会委員辞令交付式（11月）・教育研究所発表会（平成21年１月）
・地域で子どもを育てる活動発表会（１月）・特別支援教育研究会卒業進級を祝う会（２月）
・小中学校卒業証書授与式（３月）
・小中学校教職員退職者及び管外異動者に対する辞令交付式（３月）
・教育委員会退職者辞令交付式（３月）等

○　その他の行事
・元教育委員会委員時田一雄氏叙勲受章祝賀会（平成20年６月）・遠野市戦没者追悼式（８月）
・遠野市市制施行３周年記念式典（10月）
・遠野市教育文化振興財団顕賞式及び遠野市体育協会栄賞表彰式（平成21年１月）
・消防出初式（１月）・成人式「はたちのつどい」（１月）等

３　教育委員会事務の実施状況と点検・評価

教育委員会では、平成18年９月に策定した当市行政の基本方針である「遠野市総合計画前期基本計画」に基づき、教育行政を推進してきました。

下図で示す「遠野市総合計画前期基本計画」の体系において、教育委員会が関わる大綱及び政策は２つの大綱と４つの政策になっています。

各政策ごとに、平成20年度おける実施事業の成果と課題を総括しました。

【遠野市総合計画前期基本計画体系図】

基本理念　「遠野スタイルの創造」

将来像　　「永遠の日本のふるさと遠野」

大　　綱	政　　策	施　　策
1　自然を愛し共生するまちづくり	1　自然と共生する環境づくり	
	2　快適な居住環境の形成	
	3　道路交通基盤の充実	
	4　安全安心な地域づくり	
2　健やかに人が輝くまちづくり	**1　健康づくりの推進**	**1　健康づくり活動の推進（スポーツ）**
		2　医療体制の充実
	2　地域福祉の充実	
	3　子育て支援の推進	
3　活力を創意で築くまちづくり	1　農畜林業の振興	
	2　商工業の振興	
	3　観光と交流のまちづくり	
4　ふるさとの文化を育むまちづくり	**1　ふるさと教育の推進**	**1　就学前教育の充実**
		2　学校教育の充実
	2　生涯学習の推進	**1　社会教育の充実**
		2　芸術文化活動の推進
	3　ふるさとの文化の継承・創造	**1　郷土文化の保存と活用**
		2　文化財の保存と継承
5　みんなで考え支えあうまちづくり	1　住民主体のふるさとづくり	
	2　行財政基盤の強化	
	3　行政サービスの向上	

（1）政策別実施事業の成果と課題

ア 健康づくりの推進

■ 総括

子どもから高齢者まで幅広く、市民が身近な施設を拠点として、日常的に生涯にわたってスポーツに親しむことのできる健康・生涯スポーツ社会が実現できるよう、学校体育施設の開放、スポーツ教室、市体育協会と連携による各種市民大会の開催など生涯スポーツの推進及び普及・振興に努めた。

市民の健康づくり活動では、健康と交流をキーワードに、保健・生涯学習・スポーツが連携のもと、健康づくり総合プログラムの充実を図った。また「遠野市健康づくり総合大学」の愛称を募集し、市民により親しまれるよう「とすぽ」とした。本校の市民センター、サテライト校の各地区センターそれぞれにおいて、地域における健康スポーツ教室や講座等を開催し、市民への健康づくり活動の推進に努めた。

子どもの体力づくりでは、継続的に早寝・早起き・朝ご飯、チャレンジ徒歩通学、小学生の50m走の走力向上を図るため走り方講習会を実施し、子どもの生活習慣の改善や体力向上に努めた。また、キッズ元気アップ応援隊による就学前児童への体力、運動能力アップ推進に努めた。

競技力向上では、ジュニアスポーツのレベルアップを図るため、経験豊かな指導者やトップアスリートを招き、本市のシンボルスポーツであるサッカーや野球等のジュニアレベルアップ事業やソフトテニス、一輪車のスポーツリーダー養成塾を開催し、競技力向上や指導者養成・育成に努めた。

また、平成28年開催の岩手国体におけるサッカー競技少年男子会場の誘致活動を行い、会場地に内定した。

■ 成果と課題

目　　標	成　　果	課　　題
健康づくり活動の推進		
健康スポーツプログラム推進事業	「遠野市健康づくり総合大学：とすぽ」のプログラムの充実を図り、本校及びサテライト校の運動教室開催数を増やし、市民の運動機会が増加した。 また、保健、生涯学習、スポーツが一体となった健康づくり総合プログラムによる健康づくり事業を展開した。	・平日の日中に就労している市民が参加できるよう夜間や休日の健康教室開催の充実。 ・健康教室参加者の固定化に伴う新規参加者の拡大。
地域健康づくりプログラム推進事業（総合型地域スポーツクラブの推進）	地域独自の健康づくりプログラムを策定し、健康教室やスポーツ教室、講座を実施した。 また、各地域への支援策として、講師派遣やスポーツ用具の提供を行った。	・ヘルスプロモーションや健康スポーツの普及を図るとともに、スポーツクラブ会員の確保及び増員が課題。 ・各地域における「健康づくり」の大切さや気運を高め、市民協働による取り組みの推進。
子どもの体力づくりプログラム推進事業	早寝・早起き・朝ご飯、チャレンジ徒歩通学等により、生活習慣の改善、体力や運動能力は向上傾向にある。 また、就学前児童を対象に運動能力アップや体力向上教室を実施した。	子どもの体力向上のため、学校、地域、保護者、行政等の連携による取り組みの推進。
スポーツ振興		
競技イベントスポーツプログラム推進事業	市体育協会やスポーツ少年団等と連携し、各種スポーツ大会開催や競技力向上に努めた。遠野じんぎすかんマラソンはマラソン振興はもとより市街地の活性化や観光、物産振興に努めた。	遠野じんぎすかんマラソンにおける参加者の増員が課題。おもてなし及びＰＲの充実。
ジュニアレベルアップ及びスポーツリーダー養成プログラム推進事業	少年野球、サッカーによるジュニアレベルアップ事業を実施し、競技力向上に努めた。 また、ソフトテニスや一輪車の指導者を招き、スポーツリーダー養成塾を開催し、競技力のレベルアップや指導者育成に努めた。	ジュニアスポーツの競技力向上に向け、学校スポーツと社会スポーツとの連携・強化。
岩手国体開催競技誘致事業	平成28年開催の岩手国体におけるサッカー競技少年男子会場の誘致活動を行い、本市がサッカー競技少年男子会場地に内定した。	準備委員会の設置、開催に向けた会場整備（芝張り替え等）。

イ ふるさと教育の推進

（ア）就学前教育の充実

■ 総括

少子化対策及び子育て支援に関する総合的な施策の推進を図るとともに、保育所及び幼稚園の相互の補完により、地域の実情に即した保育と教育との一体化を図るため、幼

児教育センターを廃止し、新たに、平成20年４月１日、市長部局に子育て総合支援センターを設置、遠野市教育委員会の権限に属する市立幼稚園に関する事務を市長の補助機関である職員に委任及び補助執行させる規則を制定した。

宮守町内に設置している市立幼稚園保育所においては、人間形成の上で大きな影響を持つといわれる幼児に対し、発達段階に応じた環境を与えるため、それぞれの機能を大切にしながら、機能を分断する事なく、相互にそれぞれの長所を取り入れ補完しあいながら、保育所児及び幼稚園児の年齢毎の保育・教育プログラムを作成し、運動環境等に配慮しながら、地域の実情に即した幼児教育を目指した。

■ 成果と課題

目　　標	成　　果	課　　題
幼児教育・保育の向上	宮守町内老人施設及び身障施設への訪問、町内高齢者との交流、中学生・高校生の体験学習・ボランティアの受け入れにより、園児・生徒の情操教育の向上、世代間交流が図られた。	交流には、訪問、受け入れとも、時期、感染症の有無等の事前調査等の配慮を要する。
	幼小連携については園児と小学生との交流も行った。また、小学校教師と幼保教諭等がお互いに保育参観・授業参観を行い、情報交換を行うことにより、就学前教育のあり方等を把握し、小学校入学後の児童指導につなげることが出来た。	今後も就学前教育のあり方、指導の方向性、気になる子ども等について学校側と協議、情報交換する場を設け連携を図ることが肝要である。
	キッズ運動教室を開催し、遊びを通して体を動かすことの楽しさを教えた。さらに、親子対象の運動教室を開催し、親子のふれあいの場を設けた。	体力向上までには、定期的な開催を要する。また、親子で楽しむ運動環境づくりは重要である。
	食育については、家庭菜園の実施、保育参観日を利用した給食の試食等を行い、園児への食育及び各家庭における食生活への意識を高めた。	幼稚園保育所の指導だけでは限界があり、親の意識向上が必要である。中高生の頃から食事の大切さを教える教育が重要である。
	幼児教育に携わる教諭・保育士の質の向上を目指して、年間通した研修を実施し、教諭及び保育士の意識改革につなげた。	今後も、教諭及び保育士の環境整備、指導のあり方等についてもっと深く研究する必要がある。
保育教育環境の整備	宮守幼稚園保育所及び鱒沢幼稚園保育所の給食室の修繕や達曽部幼稚園保育所の遊具等の修繕を行い、子どもたちの保育教育環境が改善された。	各幼稚園保育所の短期・長期環境整備計画の立案を要する。
芸術・文化活動	人形劇観劇、園児遊戯のまつりへの参加などを通して、芸術・文化に触れ、携わる機会の確保に努めた。	今後も、情操教育の向上を図るため、優れた芸術・文化に触れる機会の確保に努める。

（イ）教育内容の充実

■ 総括

「生命と心を育む教育」の具現を目指し、「学習や生活の基礎力の定着」「個性と能力

の伸長」「社会性と自主性の伸長」を図るために、各学校との共通理解と連携のもとに、事業を積極的に推進してきた。

■ 成果と課題

目　　標	成　　果	
学力向上		
学力向上対策会議	校長、教頭、教務主任を対象に、３回開催した。各校の実態と課題に即した年間の「計画→実行→評価→見直し」のサイクルによる学力向上策が定着しつつある。	・主任層の意識啓発 ・市全体で共通した取組事項設定の必要性
教育研究所	教科指導の課題解決及び特別支援教育の充実を図り、学校に還元できる実践的な研究を行い、研究発表会でその成果を還元できた。	市の課題となる教科の重点的研究
ＮＲＴ調査と学習定着度状況調査（学調）の実施	ＮＲＴ(４月)、学調(国:４月、県:10月)の分析や各校への助言・指導により、各教科の学力実態の把握に基づく指導が行われ、基礎基本の定着を図る一助となった。	各学校独自の分析のあり方についての指導
学校教育専門員派遣事業・指導主事の派遣	各校の要望に応じて学校教育専門員を55回、指導主事を 122回派遣し、教師の授業力向上及び校内研究の充実が図られた。	中学校の校内研究の充実
教育研究指定校事業	遠野北小学校の算数科、遠野中学校の全教科での学校公開、土淵小・土淵中の研究指定により、対象校の学力向上及び指導力向上が図られた。	学校の自主性を高める学校公開のあり方
外国人講師招聘事業	中学校８校 273回、小学校11校77回の派遣を行い、英語力の向上及び国際理解教育の充実が図られた。	小学校外国語活動における効果的な活用
心の教育の充実		
道徳地区公開講座	全小中学校において、地域や保護者の方々に道徳の授業を公開することにより、児童生徒の道徳心の向上を図ることができた。	継続的な実施
文化行事奨励事業	小学校音楽祭、小中学校作文コンクール及び作品展(絵画・書道)の実施により、児童生徒の感性や情緒を高めている。	学校の多忙感の解消
相談員活用調査研究事業	「子どもと親の相談員」「学校適応相談員」「スクールカウンセラー」「研究所の相談員」の配置事業により、心の問題への早期発見、早期対応ができた。	関係機関との連携
特別支援教育への理解及び適正な就学指導の推進	関係機関（分教室、保育園・幼稚園、保育協会、福祉の里）と連携を図り、適正な就学指導の実施を心がけた。	上半期における就学相談の充実と計画的な就学指導
幼稚園・保育園・小学校交流会	年２回実施し、幼保小の教員、保育士の参加による情報交換を行った。共通課題の確認、気になる子どもへの指導のあり方について理解を深めた。	継続的な啓発

特色ある学校づくり		
特色ある学校づくり事業	全小中学校で実施し、前年度の活動をさらに充実させることができた。 郷土芸能、郷土理解学習、農業体験などが実施され、児童・生徒の郷土への理解と愛着を深めさせることができた。	総合的な学習の時間の年間指導計画の見直し
学校懇談会	綾織小と宮守中で実施した。学校の取組状況について、教育委員会関係者と学校が情報交流する貴重な場となった。	学校の教職員との懇談のあり方
学校評価	市内全小・中学校において、学校評価を実施した。内部評価・外部評価を実施して、結果をまとめた。	評価表の改善と実施後の学校側の活用と公表

(ウ) 教育環境の充実

■ 総括

将来における遠野市の教育の振興と歩むべき基本方向を示す教育振興基本計画の策定に取り組むとともに、少子化による児童生徒の減少が続く中、中学生のより良い教育環境の実現を目指し、時代の変化に的確に対応した学校のあり方を、市民の意見、提言を取り入れながら、中学校再編成計画案を取りまとめた。

また、児童生徒が安全で安心でき、個性と能力を発揮できる学習環境の向上を目指し、施設整備、通学対策、教材整備、教育費の支援等に継続して取り組んだ。

■ 成果と課題

目　　標	成　　果	課　　題
教育振興基本計画の策定		
教育振興基本計画の策定	庁内体制としての策定チーム、策定委員会、関係団体等の代表者及び有識者18名で構成する検討委員会を組織し、将来における当市の教育の振興と歩むべき基本方向を示す遠野市教育振興基本計画（平成21～27年度）を平成21年３月26日策定した。 ・策定チーム、策定委員会（各２回開催） ・検討委員会（５回開催）	計画の進行管理の徹底を図る。
中学校再編成の推進		
中学校再編成の推進	平成20年３月28日、中学校再編成検討委員会からの答申を受け、内部検討組織体制を整えて検証を重ね、７月23日に計画原案、10月27日に計画案をそれぞれ取りまとめ、概要版チラシの全戸配付などの情報提供、地区別小中ＰＴＡ説明会及び市民説明会の開催による意見交換を通して、平成21年３月までの計画決定の市民合意に努めた。 しかしながら、平成21年１月９日に市議会に中学校再編成調査特別委員会が設置され、６月30日を期限に調査活動を行っていることから、計画決定は当調査特	市議会中学校再編成調査特別委員会の推移を見据えながら、市民との合意形成を図り中学校再編成計画の策定を目指す。

	別委員会の最終報告後とした。 ①説明会開催状況 ・平成20年５月13日～６月５日 答申に係る説明会（17会場 243名出席） ・平成20年７月30日～９月１日 計画原案説明会（17会場 425名出席） ・平成20年10月21日～10月30日 計画原案追加説明会（４会場 192名出席） ・平成20年11月19日～12月23日 計画案説明会（19会場 495名出席） ②内部検討組織の協議状況（13回）	
学校施設の整備		
綾織小学校改築整備事業	学びのプラットホーム構想（中学校を活用した小学校・保育園・児童館の子育て機能や高齢者の活動の場、地域スペースの世代を超えた一体的な整備）に基づき、地域との協議を進め、平成20年８月29日、基本計画・基本設計が取りまとまり、平成21年３月20日実施設計が完成した。 ①基本計画・基本設計業務（19年度繰越事業） ・事業費 5,040,000円（平成20年８月29日完成） ②実施設計業務 ・事業費 8,190,000円（平成21年３月20日完成） ・普通教室棟、管理棟、エネルギー棟の新築。 ③地質調査業務 ・事業費 2,221,800円（平成21年２月10日完成） ・建築箇所の土質ボーリング	改築にあたっては、地域材の活用と児童が伐採から加工、建築までの校舎完成の過程に直接関わる計画を立案し、環境問題、地産地消、郷土理解を深める生きた教育を推進する。
遠野北小学校整備事業	20、21年度の２ヵ年計画で、老朽化に伴う校舎大規模改造、屋内運動場及びプール改築を実施する。 ①校舎大規模改造工事 ・契約額 300,300,000円（期間：平成20年５月27日～21年11月20日）※20年度交付金支払限度額 157,300,000円。 ・校舎昇降口棟、南側棟、北側棟（一部）完成。その他工事監理委託、交付金対象外工事など20年度事業費161,802,400円。	21年度において校舎、屋内運動場及びプールの一体的な整備を図る。

	②屋内運動場実施設計業務 ・事業費 6,405,000円（平成21年３月13日完成） ③屋内運動場改築地質調査業務 ・契約額 1,627,500円（平成21年２月12日完成） ④国補正による事業の推進 ・校舎大規模改造工事（12月補正…21年度事業分） 予算額 166,796千円、21年度繰越。 ・プール改築（２月補正） 予算額 6,800千円、21年度繰越。 ・屋内運動場改築（３月補正） 予算額 245,500千円、21年度繰越。	
小学校施設耐震補強事業	耐震診断の判定結果に基づき、遠野小学校校舎、鱒沢小学校校舎、土淵小学校屋内運動場の耐震改修設計を行うともに、国補正により、耐震補強工事の予算措置をした。 ①小学校３施設耐震改修設計業務（19年度繰越事業） ・事業費 4,987,500円（平成20年６月25日完成） ②小学校３施設耐震補強工事（12月補正） ・予算額60,900千円、平成21年３月1717日工事発注、21年度繰越。	３施設の耐震補強工事が実施され、今後は残る耐震性が不足している遠野小学校屋内運動場の耐震化（補強又は改築）に取り組む必要がある。
校舎等維持管理費（施設改修）	教育環境の整備と教育財産の適正な維持管理を図った。 ①附馬牛小学校プールろ過器更新工事 ・事業費 5,481,000円（平成20年12月22日完成） ②鱒沢小学校防火扉改修工事 ・事業費 4,873,050円（平成21年２月13日完成） ③土淵小学校屋内運動場トイレ水洗化工事 ・事業費 7,429,800円（平成21年３月19日完成）	設備の保守点検や学校巡回、学校との連携を通して、施設の維持管理、修繕補修の適切な対応に努める。
公共施設ロングライフ事業	安全、安心な施設環境の修繕補修を一括管理による効率化を図りながら進めた。 ・小学校施設（決算額 6,439,440円） ・中学校施設（決算額 5,213,250円）	
通学対策の充実		
小中学校スクールバス更新事業	より安全で快適な通学に資するため、平成６年３月登録、15年経過の土淵小学校スクールバスの更新を行った。 ・土淵小学校スクールバス１台 決算額 11,675,100円（中型バス着座38名、平成21年３月23日納車）	計画的なスクールバスの更新を行う。21年度は小友小学校スクールバス２台の更新を予定する。

通学対策費	遠距離通学児童生徒のため、スクールバス等の運行を行い、通学難の解消を図った。また、徒歩の遠距離通学児童生徒に対して、通学費補助金の支給を行い、保護者負担の軽減を図った。 ①小学校 ・通学バス等運行委託料 バス６台､ワゴン３台､タクシー２台､路線バス（決算額17,191,086円） ・遠距離通学費補助金（通学距離４㎞以上）39人（決算額 291,200円） ②中学校 ・通学バス等運行委託料 バス３台（決算額 6,005,370円） ・遠距離通学費補助金（通学距離６㎞以上）29人（決算額 212,000円）	デマンド交通システムの確立後においては、スクールバスの住民利用に供する活用についての検討を要する。
教材の整備		
教材整備費	学校が必要とする教材備品、図書を購入するとともに、20年度は小中学校８校のパソコンの更新を行い、学習環境の向上に努めた。 ①小学校 ・教材備品、児童用図書、パソコンリース料、その他教材用消耗品等 （決算額23,849,816円） ②中学校 ・教材備品、生徒用図書、パソコンリース料、その他教材用消耗品等 （決算額21,048,849円）	児童生徒が、質の高い充実した教育環境の中で学ぶことができるよう、教材の整備を図る。
教育費の支援		
私立幼稚園保育料助成事業	私立幼稚園に就園する園児の保育料の助成を行い、保護者の経済的負担の軽減と子育てに意欲を持つ環境づくりに寄与した。 ・第１子園児（５%軽減）57人 ・第２子園児（10%軽減）44人 ・第３子以降園児（月額4,800円の有料）22人 （決算額 3,911,993円）	保護者の経済的負担の軽減を図るとともに、私立幼稚園の健全運営の支援に努める。
私立幼稚園就園奨励事業	私立幼稚園就園者の保護者の所得状況に応じて、保育料の補助を行い、保護者の経済的負担を軽減するとともに、幼稚園教育の振興に資した。 ・光の園幼稚園50人、聖光幼稚園54人計 104人。（決算額 8,265,300円）	

就学援助費	経済的理由により、就学困難な児童生徒の保護者に対して、学用品費、校外活動費、新入学学用品費、修学旅行費、通学費、学校給食費、学校病医療費を支給し、義務教育の円滑な実施を図った。 ①小学校 ・支給児童110人（決算額 6,727,630円） ②中学校 ・支給生徒 94人（決算額 9,953,733円）	就学援助制度の周知徹底を図り、すべての児童生徒が義務教育を円滑に受けることができるよう努める。
奨学資金の貸付		
育英事業（貸付分）	経済的な事由により修学困難な優秀な学生94人に学資の貸与を行い、有能な人材の育成に努めた。 ・継続分　59人 ・新規大学生分　27人 ・新規高校生分　8人 （決算額 40,570,000円）	滞納者はもとより保証人及び連帯保証人への償還要請や催告により、未償還となっている貸付金の回収に一層努めなければならない。 ・20年度決算時滞納額 6,145,300円（42人）
地域教育の振興		
地域教育文化振興事業	学校・家庭・地域社会における教育の充実を地域ぐるみで実践する各町地域教育協議会の活動により、地域教育の振興を進めるとともに、地域教育協議会連絡会を開催し、情報交換及び活動支援を図った。 また、宮守町（小学校単位３地区）に地域教育協議会が設置され、市内全地区における当組織の体制が整った。 ・各町地域教育協議会運営補助金…１地区50,000円以内　（決算額 405,200円） ・地域教育協議会連絡会　３回開催	子育て環境整備の支援施策として地域教育協議会の更なる活動の充実が重要となる。

(エ) 学校給食の充実

■ 総括

子どもたちが、豊かな人間性を育み、生きる力を身につけていくためには「食」が重要であり、遠野の四季折々の変化や食べ物の旬のおいしさを味わう「遠野旬を食べよう給食」や「栄養職員の学校訪問」を通し、食育の推進に取り組んだ。

また、通常の給食に地場産農産物の食材を多く取り入れ「地産地消」に努めた。

■ 成果と課題

目　標	成　果	課　題
食育及び地産地消の給食の推進	学校給食事業では、栄養バランスのとれた給食の提供を行い、季節感のある給食の提供ができた。また、遠野産の農産物を多く取り入れ消費拡大を図り、地場産物使用割合を高めた。 ・地場産物使用割合 目標29.0%　実績37.9% ・決算額 268,120,419	冬期間の地場産食材の確保が難しい。

	ふるさと食材給食事業では、児童生徒が学校栄養職員や農産物生産者等との交流を通し、食事のマナーや地域の食文化、農産物の理解など「食育」を推進した。 ・年４回の実施 ６月　鱒沢小学校、綾織中学校 ８月　小友中学校、宮守中学校 10月　附馬牛小学校、宮守小学校 12月　遠野小学校、達曽部小学校 ・決算額 1,200,000円	「遠野旬を食べよう給食」に出席し、児童生徒に農作物生産の話をしてくれる農家の方の確保が難しい。
学校訪問及び栄養指導の推進	学校と連携を密にし、学校栄養職員による食育、栄養指導を行った。 ・遠野学校給食センター 各学校年２回　学校訪問32回 ・宮守学校給食センター 各学級年１回　学級訪問29回	学校訪問だけではなく児童生徒や親にも給食センターに来ていただき、施設見学も交えた指導がより効果的である。
総合食育センターの整備	老朽化している両学校給食センターを統合し、施設の有効活用と地産地消の拠点としての総合食育センターを整備するため、事業の調査と組立てを検討した。	施設や機械の故障が多発しており、早急な整備が必要である。

ウ 生涯学習の推進

■ 総括

広報遠野「学びのいずみ」の充実を図り、定期的に学習情報の提供を図るほか市民協働企画私が創る学びの場「マナビィ・クラブ」や「出前講座」など市民と協働で講座を開催し、生涯学習の推進に努めた。

家庭教育の充実については、家庭教育ゼミナールを実施し、家庭教育に関する学習の機会をつくり、家庭学習の習慣づけにむけた「放課後子ども教室」を児童館・児童クラブや小学校の空き教室を利用し、６小学校で実施した。

青少年の健全育成については、少年少女ふるさと発見探偵団、少年少女囲碁将棋教室、遠野こどもまつり等を子ども・家庭・学校・地域・行政の５者の連携により実施し、少年委員を中心とした少年の非行防止・環境浄化活動を行い、地域が一体となった不健全図書自動販売機の撤去に取り組む運動を展開した。

芸術文化の振興については、自主事業として演劇やコンサートなどを開催し、広く市民に芸術文化を鑑賞する機会を提供することができた。また、市民芸術祭、遠野物語ファンタジーなどの開催や、遠野市民センターバレエスタジオ、遠野少年少女合唱隊の運営推進を図るなど市民の芸術文化活動の促進に寄与することができた。

■ 成果と課題

目　　標	成　　果	課　　題
生涯学習の推進	広報遠野「学びのいずみ」により市民に学習情報を提供し、効率的な学習講座を実施することができ、また市民協働企画私が創る学びの場「マナビィ・クラブ」の活動を支援し、市民と協働により学習機会を設定することができた。	・市民ニーズの把握と内容の充実 ・学習情報等の把握と提供 ・定期的、継続的に学習機会を創ること

社会教育事業の充実	小中学校との連携による「家庭教育ゼミナール（11コース）」では、ＰＴＡ等を対象に学習機会を作ることができた。 また、地域で子どもを育てる活動発表会の機会を利用し、家庭教育講演会を開催した。多くの参加者を得て、学習機会の少ない層へ学びの場を提供することができた。	学級講座、研修会等に参加したことのない方々への普及拡大
青少年の健全育成	余暇の過ごし方を利用した有効的な活動として、少年少女ふるさと発見探偵団及び少年少女囲碁・将棋教室などを開催し、家庭単独ではなかなか設定できない体験活動を行い、世代間での交流も図りながら、子ども活動サポーターなど新しい時代を担うリーダーの育成に努めた。 家庭学習の習慣づけにむけ「放課後子ども教室」を設置し、「遊ぶ前にまず宿題」の声がけを行ったことにより、自主学習や家庭学習の習慣づけを支援することができた。 少年センターを中心に関係機関、団体・地域と連携し、「地域の子は、地域で守る」を念頭に運動を展開しながら、少年の非行防止・環境浄化活動に努めた。	住民全体に非行防止や環境浄化の意識を広め、青少年の健全育成を図らねばならない。
都市間交流	武蔵野市へ児童20名を派遣し、友好都市との交流を図った。 また、遠野国際交流協会との取組みにより、中学生９名をアメリカ合衆国チャタヌーガへ派遣した。事前研修を行うことで、各自が目的を持って派遣研修を行うことができた。高校生のチャタヌーガ派遣研修についても支援を行った。	高校生海外交流事業の実施内容と事業主管の検討
芸術文化の振興	自主事業として、みやもりホールでは、市原悦子「朗読とお話の世界」を市民センターでは、「南こうせつ With ウー・ファン心のうたコンサート」、松竹特別公演「嘉島まつり」「狐狸狐狸ばなし」、あんべ光俊「それからの遠野」コンサートを開催し、市民に広く芸術文化を鑑賞する機会を提供することができた。 遠野市民センターバレエスタジオと遠野少年少女合唱隊の活動及び発表会を行い、バレエ、合唱隊ともに活動を通し、子どもたちの情操教育等に寄与することができた。 遠野物語ファンタジーでは、各世代からキャスト、スタッフに多数の参加があり、市民協働による公演を開催することができた。	・自主事業実施に当たっての住民ニーズ等の把握 ・バレエスタジオ、合唱隊は、運営面での効果的な活動を展開できるよう、生徒の確保と定期的な創作バレエの公演実施 ・遠野物語ファンタジーでは、今後も多くの市民の参加ができる体制の維持

	小学４、５、６年生を対象に青少年劇場を開催し、優れた芸術に触れる機会の提供に努めた。 市民芸術祭実行委員会（会長：登坂慶子遠野市芸術文化協会会長）を組織し、合同茶会、舞台合同発表会、総合展示会、菊花展を開催し、各種団体等が日ごろの練習の成果を披露する機会を確保することができた。また、小中高学校の吹奏楽部等に参加を呼び掛けた結果、舞台合同発表会への参加が増え、内容の充実が図られた。	

エ ふるさとの文化の継承・創造

■ 総括

市民の学習ニーズの多様化に対応し、文化教養施設としてその機能の相乗的発揮に努めるとともに、郷土の歴史・文化の発掘と保存及び伝承文化の調査・記録に努めた。

■ 成果と課題

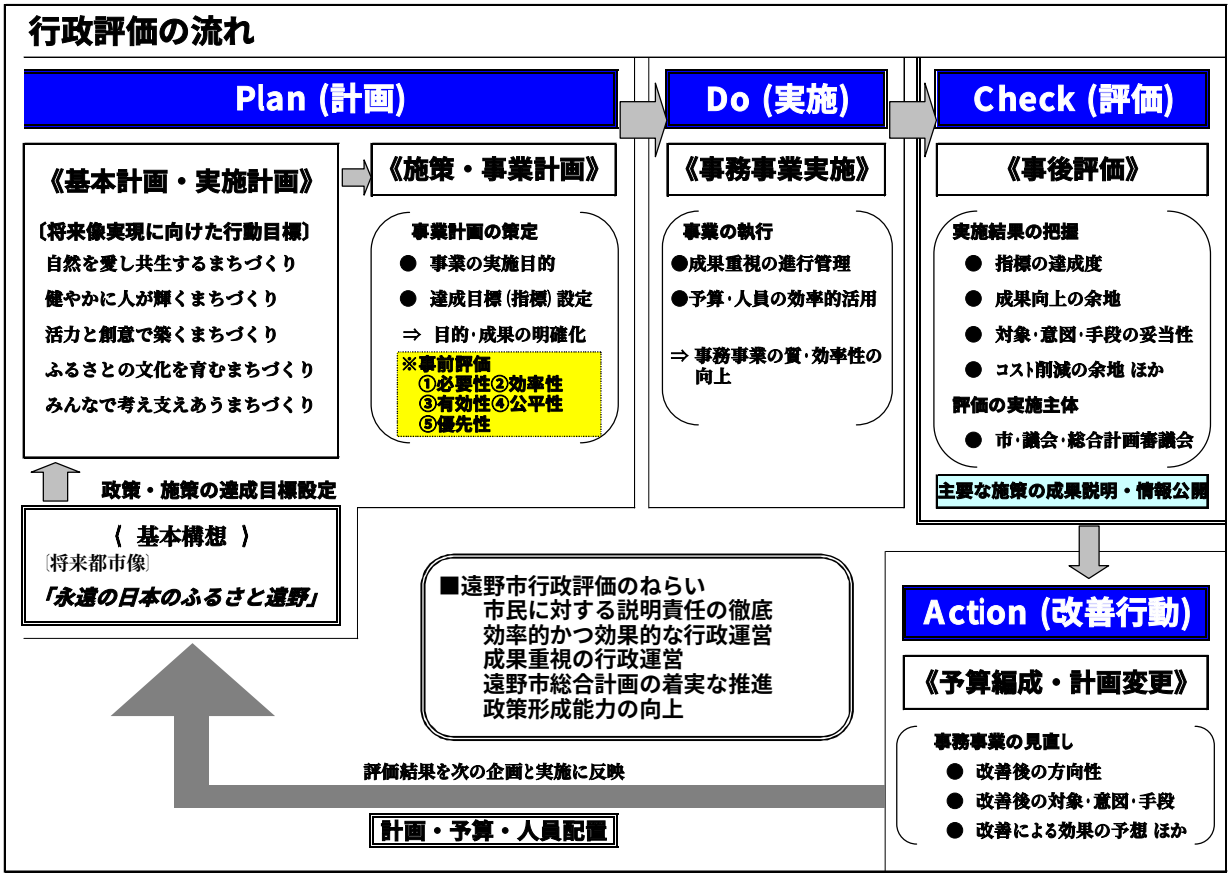
目　　標	成　　果	課　　題
文化財保護活動	文化財については、文化財調査を行い基礎資料の充実を図った。郷土芸能では、発表の場の確保及び道具類の整備等保存団体への支援を行った。 埋蔵文化財では、蓬田遺跡の発掘調査、室内整理作業及び宮守町地区遺跡詳細分布調査を実施した。 国指定史跡「綾織新田遺跡」の説明板を設置した。 国重要文化財「千葉家住宅」については、火災報知設備設置に向けて必要書類を整え、補助申請資料を作成した。 国の登録文化財として「仙台屋」が登録となった。 第３回遠野遺産認定を実施し、新たに27件の遺産が認定され、遠野遺産は計80件となった。 国の重要文化的景観として、附馬牛町の荒川駒形神社が追加認定となった。また、追加申出箇所として土淵町山口集落の調査を実施した。	・文化財の適正管理と調査 ・伝統芸能の掘り起しと後継者確保 ・保全、管理方法、修理事業の実施 ・追加登録物件の情報収集 ・保護活動の推進 ・第二弾となる山口集落の保存調査の実施、保存計画の策定
図書館活動	「遠野市子どもの読書活動推進計画」に基づき、具体的な取り組み事業を実施した。また、図書館のコンピュータシステムの利用による市民サービスの充実に努めた。 施設貸出文庫、図書館教室、調べ学習のための資料貸出など学社連携による読書活動を推進した。	「遠野市子どもの読書活動推進計画」により、関係機関・団体が連携協力して、効果的に事業推進を図る必要がある。

	視聴覚教育の普及については、映画会の開催、ビデオソフト教材の購入、機材の整備保存に努め、利用に供した。 遠野物語研究所事業については、郷土史を学習する各種教室や『遠野物語』ゼミナールの開催により、文化活動の活性化に努めた。	
博物館活動	博物館のリニューアルに向けて、民俗写真資料７万点をデジタル化した。また展示基本設計・実施設計を行った。 給食センター移設計画に伴い、隣接する松崎収蔵庫の移転作業を行った。 福祉の里や高齢者施設と連携して、認知症予防事業「回想法」を実施し、「回想法」をテーマにした特別展「思い出のチカラ」を開催して啓発普及を図った。 市民を対象にした博物館講座を開催し、郷土学習機会を提供した。また児童生徒を対象にした「博物館教室」を開催し、校教育との連携を図った。 「町家のひな祭り」「町家の観月会」など商工会との連携を図り、中心市街地活性化に努めた。	「遠野物語」発刊100周年の2010年に向けて博物館をリニューアルし、「遠野物語」と遠野の文化の魅力を全国に発信する必要がある。 また「とおの昔話村」開村後23年が経過して老朽化が進んでおり、まちなかの中核的観光施設としてのリニューアルを図る必要がある。

（２）行政評価（点検・評価）

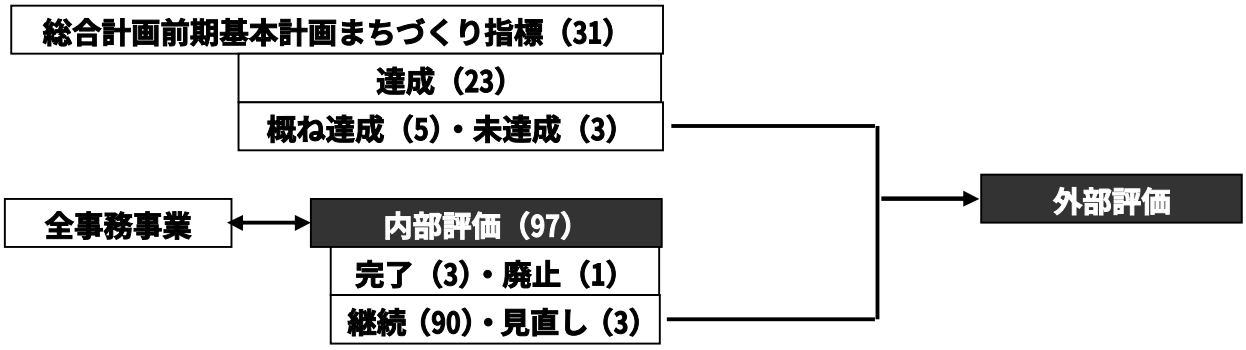
ア 行政評価の取組状況

行政評価は、全事務事業を対象とし、平成20年度は、 468事務事業（教育委員会部分は97事務事業）の行政評価を行いました。



また、平成18年９月に策定した「遠野市総合計画前期基本計画」では、市民主体の視点に立った行政運営を進めるため、計画の進捗状況を分かりやすく数値で示した 148のまちづくり指標（教育委員会部分は31のまちづくり指標）を、最終年度を平成22年度として、年度ごとに段階的に目標値を設定し、達成状況を毎年度公表することにしています。

このことから、行政評価の外部評価にあたっては、総合計画前期基本計画まちづくり指標の平成20年度達成状況が「概ね達成」または「未達成」の中から、その実績結果に直接的に影響すると思われる事業で、かつ事務事業行政評価の内部評価の結果が「継続」または「見直し」の判定となった事業の中から選定し、５名の点検評価員において外部評価を行いました（今年度は遠野市総合計画審議会における外部評価が実施されないことから、平成21年３月に策定した教育振興基本計画の検討委員会委員であった者のうちから５名を選び依頼、承諾を得る。）。



【取組状況】

年　月	実　施　内　容	備　　考
平成20年６月	平成20年度行政評価取組方針の決定	
	平成20年度行政評価取組方針の周知	
８月	行政評価調書作成	各課提出（一次評価）
９月	行政評価調書結果集計	二次評価の実施
平成21年３月	点検評価員における外部評価	

イ まちづくり指標（総合計画前期基本計画）の点検・評価

評価は、目標の達成状況に応じて、**達成・概ね達成・未達成に３区分**しています。
目標を達成していない指標については、20年度目標値に対する実績値の割合で達成率を算出し、90%以上を概ね達成、90%未満を未達成としています。

【平成20年度教育委員会まちづくり指標総括表】

項　　目	19年度				20年度			
	指標数		率(%)		指標数		率(%)	
まちづくり指標数	31				31			
達　　成（100%以上）	22	30	71	97	23	28	74	90
概ね達成（90%以上100%未満）	8		26		5		16	
未 達 成（90%未満）	1	1	3	3	3	3	10	10

昨年度に引き続き、施設利用が着実に図られ、市民センター施設の利用者数、市民協働の自主事業の参加者数や鑑賞者数、図書館利用・貸出冊数など23指標、74%が目標を達成しており、昨年度より３ポイント上昇しています。また、達成率90%を超える５指標を含むと、28指標、90%の概ね目標達成となっています。

目標に届かなかったものは、昨年度の１指標から３指標に増えていますが、博物館入館者数については、２度の県内大規模地震以後の風評被害による入館者数の激減であり、市内観光施設すべてに共通する外的要因となっています。なお、博物館は22年４月下旬にリニューアルオープンが予定されることから、以後の利用者の増加が期待されます。また、小学校・中学校とも学習定着度状況調査の平均点が未達成であることから、授業力の向上に努めなければならないが、指標が問題の難易度に関係なく平均点で設定されているので、県平均との差で成果を評価するよう指標設定の見直しを図る必要もあります。

資料１　平成20年度総合計画前期基本計画まちづくり指標（教育委員会31指標）実績一覧表

ウ 事務事業の点検・評価

評価は、目標の達成状況に応じて、90%以上達成した事業を概ね達成、90%未満の事業を未達成とし、事務事業について、**継続・見直し・完了・廃止の４区分**で評価しています。

【平成20年度教育委員会事務事業行政評価総括表】

区　分	項　目	19年度事業数	20年度事業数	区　分	項　目	19年度事業数	20年度事業数
概　ね達　成	継続	73事業	76事業	未達成	継続	9事業	14事業
	見直し	4事業	3事業		見直し	0事業	0事業
	完了	6事業	3事業		完了	1事業	0事業
	廃止	1事業	1事業		廃止	0事業	0事業
	合計	84事業	83事業		合計	10事業	14事業

達成状況は、全事務事業97事業中、83事業（85.6%）が概ね目標を達成した（ 100%以上の目標達成は75事業）。昨年度より 3.7ポイント下降しているが、90%未満（14.3%）要因としては、まちづくり指標同様に２度の県内大規模地震以後の風評被害による各観光施設の入館者数が減っている外的要因の影響が大きくなっています。

総体的には、学校教育の充実、生涯学習の推進、健康づくりの推進、遠野遺産認定制度に伴う郷土文化の保存と活用及び文化財の保存と継承についての各分野にわたり、事業が着実に進められていると認められます。今後は学校施設の整備、総合食育センター構想の推進、遠野物語発刊 100周年記念プロジェクト等の推進を図っていく必要があります。

資料２　平成20年度事務事業行政評価（教育委員会97事務事業）集計表

資料３　平成20年度事務事業成果説明書

エ 外部評価の結果

外部評価は、前段で説明したとおり、総合計画前期基本計画まちづくり指標の平成20年度達成状況が「概ね達成」５指標及び「未達成」３指標の中から、その実績結果に直接的に影響すると思われる事業で、かつ事務事業行政評価の内部評価の結果が「継続」または「見直し」の判定となった事業の中から、下記の３事業を選択し、「遠野市教育委員会の事務の管理及び執行状況に係る点検・評価会議（点検評価員５名）」 において外部評価を行いました。また、97事務事業全体への意見もいただきました。

<table>
<tr><th rowspan="2">№</th><th>まちづくり指標№</th><th>まちづくり指標名</th><th>単位</th><th>目標値</th><th>実績値</th><th>達成状況</th><th>達成率%</th><th>まちづくり指標の成果・評価</th></tr>
<tr><th>行政評価調書№</th><th>まちづくり指標の実績に直接的に影響した事務事業名</th><th colspan="2">事務事業の内部評価結果</th><th colspan="4">外部評価結果</th></tr>
<tr><td rowspan="3">1</td><td>2</td><td>総合型地域スポーツクラブ会員数</td><td>人</td><td>2,900</td><td>2,776</td><td>概ね達成</td><td>95.7</td><td>市民の健康づくり意識の高まりや健康づくり総合大学「とすぽ」との連携により、目標を概ね達成することができた。しかしながら、総合型地域スポーツクラブとしての加入推進やＰＲ活動がマンネリ化してきており、目標会員数には届かなかった。
今後は「とすぽ」参加者への周知活動を充実させるとともに、自主的な活動を行っているサークルやスポーツクラブ等へ呼びかけを行い、加入推進を図る。</td></tr>
<tr><td>8</td><td>地域健康づくりプログラム推進事業費</td><td colspan="2">継続</td><td>⇒</td><td colspan="3">「とすぽ」参加者、サークルやスポーツクラブ等の団体への加入推進の強化が必要。</td></tr>
<tr><td colspan="8">【主な意見】
○それぞれの地域で総合型というものを意識して、会員数をもっと増やす手立てを考える必要があると思われる。
○これから先は、必ず総合型地域スポーツが主流となる。現状の結果はまだ厳しいものがあるが、今後ますますその推進に努めていただきたい。
○健康づくり総合大学（とすぽ）を活用しながら、会員数を増やせないか。</td></tr>
</table>

2	7	学習定着度状況調査（小学校）	平均点	78	66	未達成	84.6	今年度は、問題が難しいため、県の平均点(67)も大きく下がった。目標値が問題の難易度に関係なく78という設定になっているため、目標値を大きく下回る結果となった。 算数の数学的な見方・考え方が低いことから、重点課題としての取組を強化し授業力の向上に努める。
	31	教育研究所事業費（標準学力検査・学力向上事業費）	継続		⇒	平成21年度の学力検査は全国平均をはるかに上回った。学力向上を図る更なる教育研究所事業の取り組みの継続が必要。		
	【主な意見】 ○指標の設定は、県平均に対してプラス何点という設定が望ましい。 ○問題の難易度により平均点数に大きく差異が生じるのは当然であり、単純に平均点での達成目標設定や達成率を評価するのは望ましくなく、全国・県内との相対評価による指標設定が必要と考える。 ○数値を上げるには、結果や調査を行っただけでは意味がなく、徹底した学習指導や訓練による学習刺激が大切である。また、家庭の協力も不可欠であり、個々にあった生活設計や適宜な学習課題が必要である。 ○学校全体で、学習規律も含めた学校経営をもっと分析し、見直しをする必要があると思われる。							
3	8	学習定着度状況調査（中学校）	平均点	69	59	未達成	85.5	今年度は、問題が難しいため、県の平均点(60)も大きく下がった。目標値が問題の難易度に関係なく69という設定になっているため、目標値を大きく下回る結果となった。 学校間の格差があり、学校への指導を焦点化したい。数学の探求的な学力、英語の「書くこと」等が課題であり、これらの課題を解決するためにも数学、英語の授業研究を進める。
	31	教育研究所事業費（標準学力検査・学力向上事業費）	継続		⇒	平成21年度の学力検査も全国平均を下回った。学力向上を図る更なる教育研究所事業の取り組みを継続するとともに、学校への徹底した指導強化が必要。		
	【主な意見】 ○指標の設定は、県平均に対してプラス何点という設定が望ましい。 ○問題の難易度により平均点数に大きく差異が生じるのは当然であり、単純に平均点での達成目標設定や達成率を評価するのは望ましくなく、全国・県内との相対評価による指標設定が必要と考える。 ○数値を上げるには、結果や調査を行っただけでは意味がなく、徹底した学習指導や訓練による学習刺激が大切である。また、家庭の協力も不可欠であり、個々にあった生活設計や適宜な学習課題が必要である。 ○学校全体で、学習規律も含めた学校経営をもっと分析し、見直しをする必要があると思われる。 ○小学校の学力向上が中学校では活かされていない。学びの連続性を考えた小・中・高の連携がもっと必要である。 ○なぜ、成績が上がらないのか、例えば部活動の影響はどうなのか。要因をはっきりすることが大事である。							

【その他事務事業全体への主な意見】

行政評価調書№	事務事業名	外部評価による意見
6	青少年健全育成活動事業費	○勤労青少年ホームの特にも音楽室の利用マナーが悪い。成果の中では、施設利用の助言・指導をしたとあるが、このことも含めた評価なのか。改善してほしい。
23	学校教育専門員配置事業費	○達成率が低いのは、配置人数が少なく手が回らないのか。若しくは専門員を活用する学校が少ないのか。優れた事業と思うので、もっと活用されたい。
65	生涯学習のまちづくり推進費	○かつて、トオノピアプランで全国発信したように、永遠の日本のふるさと遠野らしく、生涯学習社会の形成に向けて体系的に検討吟味し、その確立を目指していただきたい。 ○新しい概念も多く含んだ地域づくり、新しいコミュニティへのスタートが必要であり、社会教育の発展充実を願う。
72	公民館一般管理費	○各地区センターを、もっと市民の利用の場として推進していってもらいたい。
80	遠野物語研究所運営事業費	○遠野物語研究所は、民間運営としては全国に誇れる市民研究所である。民俗学の聖地での市民活動として発展充実するため、今後も市の支援を続けていただきたい。
85	文化財調査保護費	○郷土芸能について、体系ごと、分類ごとに収集し、市民に紹介すれば、もっと郷土芸能の素晴らしさを分かってもらえるのではないか。文化財も含めて、もっと立体的に整理していただければありがたい。

資料1

平成２０年度総合計画前期基本計画まちづくり指標（教育委員会３１指標）実績一覧表

まちづくり指標			前年度実績値	20年度		達成状況	達成率(%)	成 果 ・ 評 価
№	指標名	単位		目標値	実績値			
1	スポーツ施設利用者数	人	210,108	221,000	224,203	達成	101.4	スポーツ施設利用者数は目標値を達成し、健康づくり総合大学「とすぽ」を中心とした健康づくりへのPRや各種教室・講座開催により、市民の健康意識が高まり、利用者数が増加したものと考えられる。 市民ニーズに応えた教室や講座の企画・開催を検討し、「とすぽ」及び総合型地域スポーツクラブと一体となった健康づくりの推進をさらに図る。
2	総合型地域スポーツクラブ会員数(累計)	人	2,404	2,900	2,776	概ね達成	95.7	市民の健康づくり意識の高まりや健康づくり総合大学「とすぽ」との連携により、目標を概ね達成することができた。しかしながら、総合型地域スポーツクラブとしての加入推進やＰＲ活動がマンネリ化してきており、目標会員数には届かなかった。 今後は「とすぽ」参加者への周知活動を充実させるとともに、自主的な活動を行っているサークルやスポーツクラブ等へ呼びかけを行い、加入推進を図る。
3	老人クラブ加入者数(累計)	人	3,305	3,580	3,243	概ね達成	90.6	加入者数が減少した要因は、対象者数は横ばいであるが、生活の多様化・個性化により、組織的な拘束を嫌う人が多くなっていることなどにより加入者が増えない状況にある。 今後は団塊世代が退職を迎えたことから、スポーツ大会等の交流事業を行い、クラブに入会するように働きかけを行う。
4	中学生・高校生の海外派遣数	人	25	23	22	概ね達成	95.7	平成20年度は、中学生・高校生18名の海外派遣を実施した。（中学生チャタヌーガ派遣９人、引率２人、高校生チャタヌーガ派遣９人、引率２人） また、20年度はカシミア校生受入れの年だったことからカシミヤ校派遣は無かった。目標は概ね達成できた。
5	小学校標準学力検査偏差値	偏差値	53	52	53	達成	101.7	目標値を上回っており、各校の取組が成果となって表れている。国語・算数は良好だが、理科・社会がやや落ち込んでいる。 今後の取組としては、遠野市全体の学力分析を行い、その情報を各学校に提供して授業改善による学力向上につなげる。また、学校ごとの学力分析のあり方を指導し、児童一人一人の学力向上に結びつける。
6	中学校標準学力検査偏差値	偏差値	50	54	50	概ね達成	92.2	昨年度よりやや上回っているが、目標値に達していない。中２・中３の数学・英語の偏差値が低い。これは教員の授業力と家庭学習の不足が大きな原因と考えられる。 今後の取組として、教師の授業力を向上させるために研究授業の活性化を図る。また、遠野市教育研究所に数学と英語の研究員部会を設置し、学力向上をめざす授業のあり方や家庭学習のあり方の研究を推進する。
7	学習定着度状況調査（小学校）	平均点	72	78	66	未達成	84.6	今年度は問題が難しいため、県の平均点(67)も大きく下がった。目標値が問題の難易度に関係なく78という設定になっているため目標値を大きく下回る結果となった。 算数の数学的な見方・考え方が低いことから、重点課題としての取組を強化し授業力の向上に努める。
8	学習定着度状況調査（中学校）	平均点	66	69	59	未達成	85.5	今年度は問題が難しいため、県の平均点(60)も大きく下がった。目標値が問題の難易度に関係なく69という設定になっているため目標値を大きく下回る結果となった。 学校間の格差があり、学校への指導を焦点化したい。数学の探求的な学力、英語の「書くこと」等が課題であり、これらの課題を解決するためにも数学、英語の授業研究を進める。
9	特色ある学校づくり事業実施学校数	校	19	19	19	達成	100.0	市内すべての小中学校で、地域の実情にあった地域理解学習が行われた。継続した学習が課題である。各学校とヒアリングを行い、特色ある学校づくりが推進されるよう指導助言を行う。
10	学校給食食材に占める地場産物使用割合	%	33.5	29.0	37.9	達成	130.7	遠野青果物商業組合との話し合いで、春から秋までの野菜が豊富な時期は、産直をとおして地元産野菜を使用することで合意した。また、市内産直三者との話し合いで、地元産野菜の供給体制を強化した。 今後も通年供給体制の確立に向け、栽培方法の検討・取組による供給量の増加を図る。
11	市民センター施設の利用件数（スポーツ施設除く）	件	3,749	3,950	3,968	達成	100.5	各種サークルや団体の活動拠点として、昨年度同様、市民センター施設が利用されている。市民の舞台による大ホール、楽屋の利用件数が増加した。今後も生涯学習などの充実により利用件数の増加が見込まれる。
12	市民センター施設の利用者数（スポーツ施設除く）	人	171,037	170,000	174,222	達成	102.5	市民の舞台の練習のため、大ホールと楽屋の利用人数が増加した。今後も生涯学習などの充実により、利用者数の増加が見込まれる。

まちづくり指標			前年度実績値	20年度		達成状況	達成率(%)	成果・評価
№	指標名	単位		目標値	実績値			
13	全講座における継続的な学習機会の割合	%	31.1	28	38	達成	135.7	年間計画を立て計画的に実施したことにより、1コース4回以上の講座の実施割合は50講座中19講座で昨年を上回った。今後も計画的に講座を開催する。
14	市民センター・地区センター生涯学習講座の延べ受講者数	人	2,927	4,000	4,247	達成	106.2	年間計画を立て計画的に実施したことにより、目標を達成できた。今後も市民ニーズに応じた講座を計画的に企画立案して講座を開催し、受講者数の向上に向けたＰＲに取り組む。
15	家庭教育講座等の延べ参加者数	人	949	1,050	1,125	達成	107.1	ＰＴＡや学校保健会等と連携し、12地区で「家庭教育ゼミナール」を開催、参加者数1,125人と前年度を上回った。家庭教育ゼミナールは毎年開催により定着しており、今後も引き続き学習機会の提供に努める。
16	芸術文化協会加盟団体の自主事業数	回	17	9	13	達成	144.4	みやもりホールで4回、市民センターで4回、中ホールで4回、とぴあ1回開催など、昨年に比べ減少はしたものの活発な事業展開が図られた。各芸術団体において、芸術文化への取組が高まっており、活動発表しやすい体制にあることが要因。今後、団体の会員の確保や育成を図るとともに、市民センターやみやもりホールの特性を活かし、市民が自ら行う自主事業や活動発表の啓発を図る。
17	市民協働の自主事業の参加者数	人	2,761	1,750	2,463	達成	140.7	昨年に比べ、芸術文化協会加盟団体の自主事業数が減少したことで実績値も減少したが、市民芸術祭への中高等学校の参加が得られたなど活発な事業展開が図られた。 今後、団体の会員の高齢化や会員数が伸び悩んでいる現状があることから、若い人が気軽に芸術に触れる機会の充実を図り、さらなる人材育成に努める。
18	市民協働の自主事業の鑑賞者数	人	12,462	7,600	11,036	達成	145.2	昨年は、目立った事業はなかったが、市民芸術祭への中・高等学校の参加が得られたことなど活発な事業展開が図られた。 今後、芸術文化団体への支援、指導者の紹介、活動の場、発表の場の提供などにより、より多くの芸術団体による自主事業や活動発表会を開催することで観覧者の増に努める。
19	博物館入館者数	人	33,481	28,600	22,470	未達成	78.6	県内大規模地震以後の風評被害や経済不況による影響のため、入館者数が激減した。 開館28年経過により施設の老朽化と展示の魅力低下が進行しているため、リニューアル工事を平成21年度に行い、まちなか観光の核施設として、平成22年4月下旬リニューアルオープンを予定する。
20	博物館講座等の受講者数	人	984	760	997	達成	131.2	学校教育と連携した「博物館教室」が定着し、多様な利用方法（出前教室、館内授業、資料貸出など）が増加した。また商工会と連携した「町家のひなまつり」市民講座や「町家の観月会」、福祉と連携した認知症予防事業「回想法」事業講演会など、広い分野にわたって遠野の歴史や民俗に対する市民の関心が高まってきた。 平成21年度リニューアル工事閉館中は出前教室や資料貸出を中心に行い、『遠野物語』発刊100周年事業と連携した講座等に対応していく。
21	『遠野物語』ゼミナール参加者数	人	374	95	398	達成	418.9	ダイレクトメール、新聞広告、ポスター等でPRを強化したことにより、2会場（東京・遠野）とも目標を上回る参加者があった。今後もさらなるＰＲに努める。
22	図書館の蔵書冊数（累計）	冊	173,168	174,200	177,214	達成	101.7	児童用貸出図書の積極的購入、郷土資料図書の収集及び寄贈などにより蔵書の充実を図った。今後もさらなる充実に努める。
23	図書館の利用者数	人	25,141	18,300	24,166	達成	132.1	電子メール予約や貸出冊数を増やしたこと、地域教育協議会などの読書推進事業の浸透により、目標を超える利用者数となった。今後もさらなる読書推進事業を展開する。
24	市民への図書貸出冊数	冊	110,291	76,000	107,407	達成	141.3	電子メール予約や貸出冊数を増やしたこと、読書週間等にあわせた図書展示、ＰＲ活動により、目標を超える貸出冊数となった。今後もさらなる読書推進事業を展開する。
25	移動図書館車の貸出冊数	冊	7,037	5,800	8,312	達成	143.3	電子メール予約や貸出冊数を増やしたこと、また利用者にあわせた巡回コースの見直しにより、利用者が増加したことで、貸出の増加につながった。今後も利用者の利便を図る。
26	学校図書館への貸出冊数	冊	11,805	12,000	12,510	達成	104.3	遠野市子どもの読書活動計画に基づき、地域教育協議会などの読書推進事業と連携して児童図書の充実を図った。今後もさらなる充実に努める。

まちづくり指標			前年度実績値	20年度		達成状況	達成率(%)	成果・評価
№	指標名	単位		目標値	実績値			
27	市文化財の指定（累計）	件	109	110	132	達成	120.0	仙臺屋の店舗等6棟が国の登録有形文化財に登録された。また、附馬牛町荒川の駒形神社が、国の重要的文化景観「遠野　荒川高原牧場」に追加された。同じく、重要文化的景観指定に向け、土淵町の山口集落を調査中。国の登録、選定に向け調査等を実施し件数は増加した。さらに、文化財指定に必要な情報収集と調査を継続し、新たな指定に向けて取組む。
28	文化財教室受講者数	回	8	15	14	達成	108.8	遠野遺産の説明や千葉家住宅、新田遺跡の説明会等を開催し、郷土の文化財に触れたり親しんだりする機会を提供した。今後も、文化財への理解と関心を深めるため、教室の開催件数と参加者数の増加に取り組む。
		人	550	330	359			
29	指定文化財説明板設置件数(累計)	基	35	38	39	達成	102.6	国指定文化財の「綾織新田遺跡」に3基、県指定文化財「青笹のイブキ」に標柱1基設置した。なお、遠野遺産案内板を20基設置した。今後も計画的に案内板を設置し、文化財への理解と関心を深めるための対応を図る。
30	民俗芸能団体数（累計）	団体	65	65	65	達成	100.0	太鼓等の用具整備及び共演会等の発表会に支援したことなどによって、民俗芸能団体の維持が図られた。今後も、用具の整備、発表機会への支援などを行い、後継者育成を図り民俗芸能団体の維持に努める。
31	民俗芸能の映像記録団体数（累計）	団体	15	17	16	概ね達成	94.1	映像記録に取り組む郷土芸能団体を募集するとともに、働きかけを行ったが、映像記録に係る準備や人的体制が整わず、遠野郷神楽共演会に出演する各団体の演目の記録にとどまった。 今後も映像記録に取り組むよう郷土芸能団体に働きかけ、民俗芸能の継承を図る。

【未達成まちづくり指標（３指標）の分析】

まちづくり指標		未達成となった現状分析	要因	今後の見通し
№	指標名			
7	学習定着度状況調査（小学校）	今年度は問題の難易度が上がったのに対し、目標値が問題の難易度に関係なく78という設定になっているため目標値を大きく下回る結果となった。	指標設定	対象となっているテストの評価が、絶対評価（到達目標値）から相対評価に変わってきているので、正当な評価とするため県平均との関係で成果を評価するように変える必要がある。 算数の数学的な見方・考え方が低いことから、重点課題としての取組を強化し授業力の向上に努める。
8	学習定着度状況調査（中学校）	今年度は問題の難易度が上がったのに対し、目標値が問題の難易度に関係なく69という設定になっているため目標値を大きく下回る結果となった。	指標設定	対象となっているテストの評価が、絶対評価（到達目標値）から相対評価に変わってきているので、、正当な評価とするため県平均との関係で成果を評価するように変える必要がある。 学校間の格差があり、学校への指導を焦点化したい。数学の探求的な学力、英語の「書くこと」等が課題である。これらの課題を解決するためにも数学、英語の授業研究を進める。
19	博物館入館者数	2度の県内大規模地震以後の風評被害のため入館者数が激減した。また開館28年経過により施設の老朽化と展示の魅力低下が進行している。	外的要因	平成21年度に図書館博物館改修工事を行い、平成22年4月下旬に『遠野物語』発刊100周年にあわせてリニューアルオープンする。旧宮守村の資料や情報を取り入れた『遠野物語』を基軸にした魅力ある展示を行い、エレベーターの新設やトイレ改修などによりバリアフリー化を図り、より一層利用者の利便性を高める。

平成２０年度事務事業行政評価（教育委員会９７事務事業）集計表

資料２

№	款	項	目	事　　業　　名	決　算　額 (単位:円)	実施 計画	評価 分類	事業 区分	市民 協働	成果指標名	事業達成 状況(%)	評価結果
1	2	1	5	公共施設ロングライフ事業費（小学校施設）	6,439,440	非登載	事務事業	ハード	×	対象小学校施設数	100.0%	継続
2	2	1	5	公共施設ロングライフ事業費（中学校施設）	5,213,250	非登載	事務事業	ハード	×	対象中学校施設数	100.0%	継続
3	2	1	5	公共施設ロングライフ事業費（公民館）	1,592,850	非登載	事務事業	ハード	○	公民館修繕実施個所数	106.7%	継続
4	3	1	3	高齢者スポーツ大会費	460,472	非登載	事務事業	ソフト	○	大会参加者数	81.3%	継続
5	3	1	3	老人クラブ育成指導費	3,040,063	非登載	事務事業	ソフト	○	老人クラブ会員数	90.6%	継続
6	3	2	1	青少年健全育成活動事業費	3,148,931	非登載	事務事業	ソフト	○	少年委員活動回数	59.7%	継続
7	4	1	5	健康スポーツプログラム推進事業費	3,494,612	登載	事務事業	ソフト	○	健康づくり総合プログラムの実践	100.0%	継続
8	4	1	5	地域健康づくりプログラム推進事業費	489,235	登載	事務事業	ソフト	○	総合型地域スポーツクラブ支援、ジュニアスポーツクラブ創設･支援	100.0%	継続
9	4	1	5	子どもの体力づくりプログラム推進事業費	1,778,699	登載	事務事業	ソフト	○	新体力テスト結果の向上、就学前幼児の運動機会の提供	100.0%	継続
10	5	1	2	勤労青少年ホーム運営事業費	4,347,072	非登載	事務事業	ソフト	○	定期利用申請団体数	87.5%	継続
11	10	1	1	教育委員会費	2,972,170	非登載	事務事業	ソフト	×	教育委員会定例会・臨時会、委員協議会の開催	200.0%	継続
12	10	1	2	事務局一般事務費	84,680,966	非登載	事務事業	ソフト	×	教育振興基本計画検討委員会開催数、中学校再編成説明会開催数、事業支援団体数	112.3%	継続
13	10	1	2	学校保健管理費	396,458	非登載	事務事業	ソフト	×	就学時健診児童数	93.9%	継続
14	10	1	2	私立幼稚園運営費補助金	1,105,000	非登載	事務事業	ソフト	×	運営費補助私立幼稚園数	100.0%	継続
15	10	1	2	私立幼稚園就園奨励事業費	8,265,300	非登載	事務事業	ソフト	×	就園奨励費対象園児数	106.1%	継続
16	10	1	2	私立幼稚園保育料助成事業費	3,911,993	登載	事務事業	ソフト	×	保育料助成園児数	104.2%	継続
17	10	1	2	地域教育文化振興事業費	405,200	登載	事務事業	ソフト	○	地域教育協議会設置数	100.0%	継続
18	10	1	2	地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業費	509,534	非登載	事務事業	ソフト	○	スクールガードリーダー活動時間数	100.0%	継続
19	10	1	2	学校教育一般事務事業費	31,305,654	非登載	事務事業	ソフト	×	指導主事派遣回数、研修会開催件数	145.3%	継続

№	款	項	目	事　　業　　名	決　算　額 (単位:円)	実施 計画	評価 分類	事業 区分	市民 協働	成果指標名	事業達成 状況(%)	評価結果
20	10	1	2	文化行事奨励費	314,857	非登載	事務事業	ソフト	×	音楽祭、作品展、作文コンクール開催、文集印刷製本	100.0%	継続
21	10	1	2	外国人講師招へい事業費	8,202,790	登載	事務事業	ソフト	×	外国人講師派遣日数	98.6%	継続
22	10	1	2	就学指導委員会費	369,705	非登載	事務事業	ソフト	×	就学指導委員会・知能検査研修会開催回数	100.0%	継続
23	10	1	2	学校教育専門員配置事業費	147,710	登載	事務事業	ソフト	×	実施校、訪問日数	62.6%	継続
24	10	1	2	適応支援相談員配置事業費	802,710	非登載	事務事業	ソフト	×	配置校数・配置相談員数・相談時間数	100.0%	継続
25	10	1	2	子どもと親の相談員配置事業費	438,160	非登載	事務事業	ソフト	×	配置校数・配置相談員数・相談時間数	100.0%	廃止
26	10	1	2	特色ある学校づくり事業費	1,826,959	登載	事務事業	ソフト	×	実施学校数、児童生徒の地域理解度	116.3%	継続
27	10	1	2	特色ある学校づくり事業費（豊かな体験活動推進事業費）	1,025,595	登載	事務事業	ソフト	×	実施学校数	100.0%	継続
28	10	1	2	いわてコミュニティ・スクール推進事業費	200,000	登載	事務事業	ソフト	○	実施学校数	100.0%	継続
29	10	1	2	ふるさと学校体験推進事業費	230,938	非登載	事務事業	ソフト	×	受入児童数	95.0%	継続
30	10	1	2	平成・南部藩寺子屋交流事業費	878,410	登載	事務事業	ソフト	×	参加児童数	100.0%	継続
31	10	1	3	教育研究所事業費（標準学力検査・学力向上事業費）	6,328,078	非登載	事務事業	ソフト	×	ＮＲＴの実施、幼児ことばの教室相談員等配置、教育研究発表会・環境科学発表会開催	100.0%	継続
32	10	1	3	教育研究所事業費（社会科副読本編集事業費）	531,350	登載	事務事業	ソフト	×	小学校社会科副読本印刷製本	100.0%	継続
33	10	1	4	育英事業費	40,943,095	登載	事務事業	ソフト	×	新規奨学生採用数、継続奨学生数	94.0%	継続
34	10	1	5	公舎管理費	319,883	非登載	事務事業	ソフト	×	教職員住宅管理数	100.0%	継続
35	10	2	1	小学校一般管理費	112,373,325	非登載	事務事業	ソフト	×	対象小学校施設数	100.0%	継続
36	10	2	1	校舎等維持管理費（一般）	718,395	非登載	事務事業	ハード	×	対象小学校施設数	100.0%	継続
37	10	2	1	校舎等維持管理費（単独・施設改修）	17,783,850	登載	事務事業	ハード	×	附馬牛小学校プールろ過器更新工事、鱒沢小学校防火扉改修工事、土淵小学校屋内運動場トイレ水洗化工事	100.0%	継続
38	10	2	1	学校保健管理費	8,385,080	非登載	事務事業	ソフト	×	児童、教職員の健康診断等受診数	99.4%	継続
39	10	2	2	通学対策費（スクールバス更新）	11,675,100	登載	事務事業	ハード	×	土淵小学校スクールバス更新	100.0%	継続

№	款	項	目	事　　業　　名	決　算　額 (単位:円)	実施 計画	評価 分類	事業 区分	市民 協働	成果指標名	事業達成 状況(%)	評価結果
40	10	2	2	通学対策費	22,531,766	非登載	事務事業	ソフト	×	スクールバス・ワゴン等の運行、遠距離通学費補助金対象児童数	104.0%	継続
41	10	2	2	教材整備費	23,849,816	非登載	事務事業	ソフト	×	教材備品購入、図書購入・パソコンリース	100.0%	継続
42	10	2	2	指導用教材整備費	0	非登載	事務事業	ソフト	×	教師用教科書及び指導書整備	0.0%	継続
43	10	2	2	就学援助費	6,727,630	非登載	事務事業	ソフト	×	支給児童数	122.2%	継続
44	10	2	2	特別支援教育関係費	442,528	非登載	事務事業	ソフト	×	特別支援学級、ことばの教室設置数	100.0%	継続
45	10	2	2	特別支援教育就学奨励費	370,701	非登載	事務事業	ソフト	×	支給児童数	100.0%	継続
46	10	2	2	体育・文化行事奨励費	693,000	非登載	事務事業	ソフト	×	事業費補助団体数	100.0%	継続
47	10	2	2	教育研究指定校費	255,085	非登載	事務事業	ソフト	×	研究指定校、学校公開研究会開催数	100.0%	継続
48	10	2	2	特別支援教育推進事業費	8,942,222	登載	事務事業	ソフト	×	特別支援教育支援員、ことばの教室巡回指導講師、日本語指導講師数	100.0%	継続
49	10	2	3	綾織小学校改築整備事業費	15,451,800	登載	事務事業	ハード	×	基本計画・基本設計、実施設計、地質調査	100.0%	継続
50	10	2	3	遠野北小学校大規模改造等事業費	169,834,900	登載	事務事業	ハード	×	校舎大規模改造工事、屋内運動場改築実施設計及び地質調査	100.0%	継続
51	10	2	3	小学校施設耐震補強事業費	5,797,575	非登載	事務事業	ハード	×	耐震改修設計対象校数	100.0%	継続
52	10	3	1	中学校一般管理費	119,556,948	非登載	事務事業	ソフト	×	対象中学校施設数	100.0%	継続
53	10	3	1	校舎等維持管理費（一般）	2,768,140	非登載	事務事業	ソフト	×	対象中学校施設数	100.0%	継続
54	10	3	1	学校保健管理費	5,778,169	非登載	事務事業	ソフト	×	生徒、教職員の健康診断等受診数	99.0%	継続
55	10	3	2	通学対策費	7,895,799	非登載	事務事業	ソフト	×	スクールバスの運行、遠距離通学費補助金対象生徒数	100.0%	継続
56	10	3	2	教材整備費	21,048,849	非登載	事務事業	ソフト	×	教材備品購入、図書購入・パソコンリース	100.0%	継続
57	10	3	2	指導用教材整備費	4,454	非登載	事務事業	ソフト	×	教師用教科書及び指導書整備	50.0%	継続
58	10	3	2	就学援助費	9,953,733	非登載	事務事業	ソフト	×	支給生徒数	110.6%	継続
59	10	3	2	特別支援教育関係費	208,433	非登載	事務事業	ソフト	×	特別支援学級設置数	100.0%	継続
60	10	3	2	特別支援教育就学奨励費	297,415	非登載	事務事業	ソフト	×	支給生徒数	55.6%	継続

№	款	項	目	事　　業　　名	決　算　額 (単位:円)	実施 計画	評価 分類	事業 区分	市民 協働	成果指標名	事業達成 状況(%)	評価結果
61	10	3	2	体育・文化行事奨励費	2,848,000	非登載	事務事業	ソフト	×	事業費補助団体数	100.0%	継続
62	10	3	2	教育研究指定校費	252,350	非登載	事務事業	ソフト	×	研究指定校数	100.0%	継続
63	10	4	1	幼稚園運営事業費	26,784,384	非登載	事務事業	ソフト	×	就園児童数	106.0%	継続
64	10	5	1	社会教育一般事務費	55,716,146	非登載	事務事業	ソフト	×	補助金・負担金支出件数	100.0%	継続
65	10	5	1	生涯学習のまちづくり推進費	1,309,636	非登載	事務事業	ソフト	○	学級講座参加者数	63.6%	継続
66	10	5	1	青少年活動サポート事業費	1,210,682	非登載	事務事業	ソフト	○	成人式参加者数、囲碁・将棋教室参加者数	84.0%	継続
67	10	5	1	芸術文化振興事業費	23,415,312	登載	事務事業	ソフト	○	自主事業実施回数	177.8%	継続
68	10	5	1	と・お・のいきいき参画プラン推進事業費	209,856	非登載	事務事業	ソフト	○	補助金支出件数	100.0%	見直し
69	10	5	1	家庭教育支援総合推進事業費	285,095	非登載	事務事業	ソフト	○	家庭教育ゼミナール参加者数	112.5%	継続
70	10	5	1	学社連携プログラム推進事業費	2,003,282	非登載	事務事業	ソフト	○	少年少女ふるさと発見探偵団延べ参加者数	75.4%	継続
71	10	5	1	都市交流推進事業費	760,666	登載	事務事業	ソフト	○	武蔵野市児童交流派遣数等	100.0%	継続
72	10	5	2	公民館一般管理費	32,217,581	非登載	事務事業	ソフト	×	公民館利用件数、利用者数	95.6%	継続
73	10	5	2	文化交流施設管理費	18,403,835	非登載	事務事業	ソフト	×	施設利用者数	138.4%	継続
74	10	5	3	図書館・博物館一般管理事業費	80,028,549	非登載	事務事業	ソフト	×	清掃業務、機械設備の定期点検等	100.0%	継続
75	10	5	3	図書館費	22,975,977	非登載	事務事業	ソフト	○	利用者数、図書貸出冊数	135.9%	継続
76	10	5	3	博物館費	11,192,936	非登載	事務事業	ソフト	○	入館者数、講座等受講者数	80.0%	継続
77	10	5	3	博物館展示改修事業費	35,227,500	登載	事務事業	ハード	○	展示改装実施設計、図書館博物館改修実施設計	100.0%	継続
78	10	5	3	とおの昔話村管理費	16,063,950	非登載	事務事業	ソフト	×	入村者数	71.5%	継続
79	10	5	3	視聴覚教育振興事業費	855,484	非登載	事務事業	ソフト	×	機材・教材貸出数、映画会開催数	120.5%	継続
80	10	5	3	遠野物語研究所運営事業費	4,944,000	非登載	事務事業	ソフト	○	遠野物語教室・遠野物語ゼミナール・遠野学会参加者数	192.4%	見直し
81	10	5	3	遠野城下町資料館管理費	3,666,416	非登載	事務事業	ソフト	×	入館者数	74.1%	継続

№	款	項	目	事　　業　　名	決　算　額 (単位:円)	実施 計画	評価 分類	事業 区分	市民 協働	成果指標名	事業達成 状況(%)	評価結果
82	10	5	3	遠野蔵の道ギャラリー管理費	4,840,486	非登載	事務事業	ソフト	×	入館者数	78.3%	継続
83	10	5	3	博物館写真資料デジタル化整備事業費	13,062,000	非登載	事務事業	ハード	×	写真及びフィルムのデジタル化・データベース整備	100.0%	継続
84	10	5	3	宮守ゆうＹｏｕソフト館管理費	1,602,993	非登載	事務事業	ソフト	○	利用者数、図書貸出冊数	235.3%	継続
85	10	5	4	文化財調査保護費	4,490,802	非登載	事務事業	ソフト	○	文化財指定件数、文化財教室開催数、民族芸能団体数、民俗芸能映像記録団体数	110.0%	継続
86	10	5	4	埋蔵文化財発掘調査事業費	5,019,120	非登載	事務事業	ソフト	×	埋蔵文化財発掘調査	100.0%	継続
87	10	5	4	千葉家重要文化財指定整備活用事業費	14,780	登載	事務事業	ソフト	×	保全整備委員会開催、自動火災報知機設置資料作成等	100.0%	継続
88	10	5	4	遺跡分布調査事業費	3,002,652	登載	事務事業	ソフト	×	試掘調査、報告書・遺跡地図の刊行	100.0%	完了
89	10	5	4	遠野遺産認定事業費	276,406	登載	事務事業	ソフト	○	遺産認定件数	135.0%	継続
90	10	5	4	文化的景観保存事業費	2,001,482	登載	事務事業	ソフト	○	荒川高原牧場追加調査、荒川駒形神社保存計画書作成、土淵町山口集落調査	100.0%	継続
91	10	6	1	スポーツ健康一般事務費	26,727,341	非登載	事務事業	ソフト	×	学校開放事業実施、体育指導委員定例会開催	100.0%	継続
92	10	6	1	競技・イベントスポーツプログラム推進事業費	10,879,325	非登載	事務事業	ソフト	○	事業補助団体数	100.0%	継続
93	10	6	1	ジュニアレベルアッププログラム推進事業費	3,187,081	登載	事務事業	ソフト	×	スポーツリーダー養成塾開催数、スポーツアドバイザー事業開催数	133.3%	見直し
94	10	6	1	岩手国体開催競技誘致事業費	146,440	登載	事務事業	ソフト	○	サッカー競技少年男子の部会場地誘致	100.0%	完了
95	10	6	2	学校給食事業費	269,320,419	登載	事務事業	ソフト	×	年間供給食数	100.0%	継続
96	10	6	3	体育施設管理費（一般）	87,481,861	非登載	事務事業	ソフト	×	施設利用者数	100.9%	継続
97	10	6	3	体育施設管理費（単独）	37,356,900	非登載	事務事業	ハード	×	市民プール改修工事	100.0%	完了

平成20年度事務事業成果説明書

資料3

№	款	項	目	事　　業　　名
1	2	1	5	公共施設ロングライフ事業費　（小学校施設）
2	2	1	5	公共施設ロングライフ事業費（中学校施設）
3	2	1	5	公共施設ロングライフ事業費（公民館）
4	3	1	3	高齢者スポーツ大会費
5	3	1	3	老人クラブ育成指導費
6	3	2	1	青少年健全育成活動事業費
7	4	1	5	健康スポーツプログラム推進事業費
8	4	1	5	地域健康づくりプログラム推進事業費
9	4	1	5	子どもの体力づくりプログラム推進事業費
10	5	1	2	勤労青少年ホーム運営事業費
11	10	1	1	教育委員会費
12	10	1	2	事務局一般事務費
13	10	1	2	学校保健管理費
14	10	1	2	私立幼稚園運営費補助金
15	10	1	2	私立幼稚園就園奨励事業費
16	10	1	2	私立幼稚園保育料助成事業費
17	10	1	2	地域教育文化振興事業費
18	10	1	2	地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業費
19	10	1	2	学校教育一般事務事業費
20	10	1	2	文化行事奨励費
21	10	1	2	外国人講師招へい事業費
22	10	1	2	就学指導委員会費
23	10	1	2	学校教育専門員配置事業費
24	10	1	2	適応支援相談員配置事業費
25	10	1	2	子どもと親の相談員配置事業費
26	10	1	2	特色ある学校づくり事業費
27	10	1	2	特色ある学校づくり事業費(豊かな体験活動推進事業費)
28	10	1	2	いわてコミュニティ・スクール推進事業費
29	10	1	2	ふるさと学校体験推進事業費
30	10	1	2	平成・南部藩寺子屋交流事業費
31	10	1	3	教育研究所事業費（標準学力検査・学力向上事業費）
32	10	1	3	教育研究所事業費（社会科副読本編集事業費）
33	10	1	4	育英事業費
34	10	1	5	公舎管理費
				【小学校】
35	10	2	1	小学校一般管理費
36	10	2	1	校舎等維持管理費（一般）
37	10	2	1	校舎等維持管理費（単独・施設改修）
38	10	2	1	学校保健管理費
39	10	2	2	通学対策費（スクールバス更新）

№	款	項	目	事　　業　　名
41	10	2	2	教材整備費
42	10	2	2	指導用教材整備費
43	10	2	2	就学援助費
44	10	2	2	特別支援教育関係費
45	10	2	2	特別支援教育就学奨励費
46	10	2	2	体育・文化行事奨励費
47	10	2	2	教育研究指定校費
48	10	2	2	特別支援教育推進事業費
49	10	2	3	綾織小学校改築整備事業費
50	10	2	3	遠野北小学校大規模改造等事業費
51	10	2	3	小学校施設耐震補強事業費
				【中学校】
52	10	3	1	中学校一般管理費
53	10	3	1	校舎等維持管理費（一般）
54	10	3	1	学校保健管理費
55	10	3	2	通学対策費
56	10	3	2	教材整備費
57	10	3	2	指導用教材整備費
58	10	3	2	就学援助費
59	10	3	2	特別支援教育関係費
60	10	3	2	特別支援教育就学奨励費
61	10	3	2	体育・文化行事奨励費
62	10	3	2	教育研究指定校費
63	10	4	1	幼稚園運営事業費
64	10	5	1	社会教育一般事務費
65	10	5	1	生涯学習のまちづくり推進費
66	10	5	1	青少年活動サポート事業費
67	10	5	1	芸術文化振興事業費
68	10	5	1	と・お・のいきいき参画プラン推進事業費
69	10	5	1	家庭教育支援総合推進事業費
70	10	5	1	学社連携プログラム推進事業費
71	10	5	1	都市交流推進事業費
72	10	5	2	公民館一般管理費
73	10	5	2	文化交流施設管理費
74	10	5	3	図書館・博物館一般管理費
75	10	5	3	図書館費
76	10	5	3	博物館費
77	10	5	3	博物館展示改修事業費
78	10	5	3	とおの昔話村管理費

№	款	項	目	事　　業　　名
80	10	5	3	遠野物語研究所運営事業費
81	10	5	3	遠野城下町資料館管理費
82	10	5	3	遠野蔵の道ギャラリー管理費
83	10	5	3	博物館写真資料デジタル化整備事業費
84	10	5	3	宮守ゆうＹｏｕソフト館管理費
85	10	5	4	文化財調査保護費
86	10	5	4	埋蔵文化財発掘調査事業費
87	10	5	4	千葉家重要文化財指定整備活用事業費
88	10	5	4	遺跡分布調査事業費

№	款	項	目	事　　業　　名
89	10	5	4	遠野遺産認定事業費
90	10	5	4	文化的景観保存事業費
91	10	6	1	スポーツ健康一般事務費
92	10	6	1	競技･イベントスポーツプログラム推進事業費
93	10	6	1	ジュニアレベルアッププログラム推進事業費
94	10	6	1	岩手国体開催競技誘致事業費
95	10	6	2	学校給食事業費
96	10	6	3	体育施設管理費（一般）
97	10	6	3	体育施設管理費（単独）

2款	総務費	1項	総務管理費	5目	財産管理費

事業名	公共施設ロングライフ事業費　（小学校施設）	単位：円

事業内容	小学校施設の少額の維持修繕を、一括管理委託方式により迅速かつ効率的に実施し、安全、安心な施設環境に資する。	計画値	対象施設：小学校 11校
成果	一括管理委託方式により、校舎、屋内運動場などの必要な維持修繕を行い、安全、安心な施設環境を図る適正な維持管理に努めた。 修繕料 6,439,440円（修繕件数75件）	実績値	対象施設：小学校 11校

予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
6,440,000	6,439,440				6,439,440

2款	総務費	1項	総務管理費	5目	財産管理費

事業名	公共施設ロングライフ事業費（中学校施設）	単位：円

事業内容	中学校施設の少額の維持修繕を、一括管理委託方式により迅速かつ効率的に実施し、安全、安心な施設環境に資する。	計画値	対象施設：中学校 ８校
成果	一括管理委託方式により、校舎、屋内運動場などの必要な維持修繕を行い、安全、安心な施設環境を図る適正な維持管理に努めた。 修繕料 5,213,250円（修繕件数55件）	実績値	対象施設：中学校 ８校

予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
5,250,000	5,213,250				5,213,250

2款	総務費	1項	総務管理費	5目	財産管理費

事業名	公共施設ロングライフ事業費（公民館）	単位：円

事業内容	少額の公共施設維持修繕を集合処理することで、迅速な維持管理を図る。	計画値	実施個所：10件～ 15件
成果	照明器具、ガラス、トイレ等の小規模修繕を迅速に実施することができた。安全で快適な施設利用サービスの提供を図ることができた。	実績値	実施個所：16件

予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
1,600,000	1,592,850				1,592,850

3 款	民　　生　　費	1 項	社 会 福 祉 費	3 目	老 人 福 祉 費

事 業 名	高齢者スポーツ大会費	単位：円

事業内容	高齢者の健康保持と生きがいを高めるため、スポーツ大会を実施し、高齢者相互の親睦を図るとともに、社会福祉の向上と明るい社会づくりに寄与することを目的とし実施する。 さわやかスポーツ大会は、岩手県民長寿体育祭（いきいきシルバースポーツ大会）の予選も兼ねている。	計画値	大会数　　５回 参加者数 1,575人
成果	遠野市老人クラブ連合会と連携しながら、次のスポーツ大会を開催し、健康保持と高齢者相互の親睦を図ることができた。 第３回さわやかスポーツ大会（７月18日、500人参加） 第３回グランド・ゴルフ大会（８月22日、98人参加） 第20回いきいきシルバースポーツ大会（９月６日、83人参加） 第３回シルバー室内競技大会（３月３日、600人参加）	実績値	大会数　　４回 参加者数 1,281人

予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
471,000	460,472				460,472

3 款	民　　生　　費	1 項	社 会 福 祉 費	3 目	老 人 福 祉 費

事 業 名	老人クラブ育成指導費	単位：円

事業内容	老人クラブ活動を推進し、高齢者の生活を豊かなものにするために実施する。 岩手県老人クラブ大会への参加、市老人クラブリーダー研修会の実施により、リーダーの育成に努める。 また、趣味を通じて老人クラブ入会のきっかけを作るため、展示、舞台発表の文化祭を実施する。	計画値	単位クラブ数 69団体 事業回数　　５回 会員数　　3,580人
成果	遠野市老人クラブ連合会に対し補助金を交付した。連合会では、次の事業を実施し、老人クラブの活動を推進し、会員の増加に努めた。 第40回岩手県老人クラブ大会参加（10月22日、22人参加） 第３回シルバー文化祭（展示部門、11月１～３日） 第３回シルバー文化祭（舞台部門、11月18日） 「遠野今昔～山ひだに生きる（第３集）」発刊 リーダー研修会（１月13日、214人参加） 第２回シルバー室内競技大会（囲碁将棋部門、２月17日）	実績値	単位クラブ数 69団体 事業回数　　５回 会員数　　3,243人

予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
3,042,000	3,040,063	1,981,000			1,059,063

3 款	民　　生　　費	2 項	児 童 福 祉 費	1 目	児童福祉総務費

事 業 名	青少年健全育成活動事業費	単位：円

事業内容	遠野市少年センター活動費 青少年の非行を未然に防止することを目的に、街頭補導、特別街頭補導、有害環境浄化活動、少年相談を実施する。	計画値	少年委員活動回数 延1,080回
成果	遠野市少年センター活動費 少年委員を市内全部で90人に委嘱した。教員の少年委員を各町に配置するなど、学校や主任児童委員等との連携体制をとった。 通常の補導活動はもとより、特別街頭補導として七夕祭り特別補導、列車補導、合同補導を実施した。 有害環境浄化活動として、成人向け不健全図書自販機設置場所の点検及び管理者宅の訪問を実施した。	実績値	少年委員活動回数 延　645回

予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
3,758,000	3,148,931				3,148,931

4 款	衛　　生　　費	1 項	保 健 衛 生 費	5 目	健康づくり推進事業費

事 業 名	健康スポーツプログラム推進事業費	単位：円

事業内容	「健康づくり総合プログラム」の活動拠点である「健康づくり総合大学・とすぽ」を運営する。 市民一人一人がそれぞれの年齢や健康状態に応じて積極的に取り組むことができる健康づくりに関する各種プログラムを実践する。 本校は保健・生涯学習分野と協働し、保健・スポーツ・生涯学習が一体となった総合的な健康づくり活動を実践する。また、市内９地区センターをサテライト校として主にスポーツプログラムを実践する。	計画値	・健康づくり総合プログラムの実践 ・健康づくり総合大学大学祭ホットスポーツの集いの開催
成果	本校、サテライト校で各種プログラムを実践し、多くの市民が年間を通じて健康づくり活動に取組める環境を整えたことで、運動をはじめとした健康づくり活動を継続して行う市民が増加した。 また、地域で自主的に運動教室等の活動をするグループが増えてきていることから、「とすぽ」での健康づくり活動の継続が、仲間づくり、地域づくりへとつながっているということができる。	実績値	・本校教室 161回　3,150人参加 ・サテライト校 210回　3,701人参加 ・保健プログラム 138回　1,340人参加 ・生涯学習プログラム 53回　1,486人参加 ・大学祭「心も体もホットスポーツの集い」150人参加

予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
3,800,000	3,494,612			3,494,612	

4 款	衛　　生　　費	1 項	保 健 衛 生 費	5 目	健康づくり推進事業費

事 業 名	地域健康づくりプログラム推進事業費	単位：円

事業内容	子どもから高齢者まで幅広い年齢層の市民が身近な施設を活動拠点として、自主運営しながら複数のスポーツ種目を楽しむことができるよう、市内９箇所に「総合型地域スポーツクラブ」を発足させ、更なる普及啓発と活動支援、種目別ジュニアスポーツクラブの育成を図る。	計画値	・市内９ヶ所の総合型地域スポーツクラブへ支援 ・ジュニアスポーツクラブ創設･支援
成果	市内各町に9つの総合型地域スポーツクラブが自主的な活動を行うとともに、「とすぽ」と連携し、市民への健康づくり意識の啓発、活動の推進が図られた。	実績値	・市内９ヶ所の総合型地域スポーツクラブへ支援 ・ジュニアスポーツクラブ創設･支援

予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
490,000	489,235				489,235

4 款	衛　　生　　費	1 項	保 健 衛 生 費	5 目	健康づくり推進事業費

事 業 名	子どもの体力づくりプログラム推進事業費	単位：円

事業内容	・子どもの体力向上や運動能力向上、望ましい生活習慣の改善・形成 ・生活習慣改善運動の展開による早寝・早起き・朝ごはん運動の推進 ・チャレンジ徒歩通学の推進 ・走り方講習会の実施 ・運動能力向上トレーニングの実施 ・新体力テストの分析 ・就学前幼児の運動教室の実施 ・広報誌（ニュースレター）の発行 ・キッズ元気アップ応援隊による子どもの体力づくり向上推進	計画値	・新体力テスト結果の向上 ・50m走、国・県平均を目標とした取組 ・体力テストの分析 ・キッズ元気アップ応援隊による就学前児童の運動機会の提供
成果	・新体力テスト実施項目96項目（男女とも48項目、学年8項目）で74項目(77%)が全国平均を上回った。 ・各小学校で運動能力向上トレーニングを実施し、運動能力の向上が図られた。 ・チャレンジ徒歩通学強化月間(10月)を市内全児童を対象に実施。22日完歩児童は70%で、前年対比３%の増。 ・キッズ元気アップ応援隊を実施し、就学前幼児に様々な動きを遊びの中から体験させることができた。	実績値	・50m走は、男子1年生が国平均以上、女子1･2・3･6年生が国平均以上 ・チャレンジ徒歩通学は完歩者対前年比３%の増 ・キッズ元気アップ応援隊、各保育所で71回実施、1,853人が参加

予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
2,000,000	1,778,699				1,778,699

5 款	労　働　費	1 項	労　働　諸　費	2 目	勤労青少年ホーム管理費

事 業 名	勤労青少年ホーム運営事業費	単位：円

事業内容	1　定期利用団体の活動に伴う施設の利用及び助言・指導 （定期利用団体６団体、その他不定期利用団体４団体） 2　県内勤労青少年ホームとの交流会等への派遣 岩手県勤労青少年ホーム協議会及び各県内ホームで行われる事業・イベントに参加し、活動する青年との交流を図る。 3　遠野市勤労青少年ホーム夜間管理委託 当ホームを遠野市青年団体協議会に平成20年４月１日から平成21年３月31日までの年間120日、１日3,000円で夜間管理委託する。	計画値	定期利用申請団体の利用　８団体
成果	・定期利用団体の活動を助言・指導した。 年間を通して、音楽室・集会室など219回の使用があり、延1,576人が利用している。 ・県内勤労青少年ホームとの交流を行った。 ①定期総会５月　②県内ブロック研修会７月　③機関誌「もえ木」発行（原稿作成）	実績値	定期利用申請団体７団体（①トオヌップ11名②墨遊会８名③英会話９名④混声合唱10名⑤バンド４名⑥バンド６名⑦バンド５名）

予　算　額	決　算　額	財　源　内　訳			
		国県支出金	地　方　債	そ　の　他	一般財源
4,710,000	4,347,072				4,347,072

10 款	教　育　費	1 項	教　育　総　務　費	1 目	教　育　委　員　会　費

事 業 名	教育委員会費	単位：円

事業内容	教育委員会運営費用で、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第23条に掲げる教育に関する事務を管理及び執行する。	計画値	定例会開催　12回 臨時会開催　随時 委員協議会開催　随時
成果	教育委員会定例会及び臨時会並びに委員協議会を開催し、教育行政の推進を図った。 議案審議件数（36件）、協議件数（９件）	実績値	定例会開催　12回 臨時会開催　４回 委員協議会開催　８回

予　算　額	決　算　額	財　源　内　訳			
		国県支出金	地　方　債	そ　の　他	一般財源
3,385,000	2,972,170				2,972,170

10 款	教　育　費	1 項	教　育　総　務　費	2 目	事　務　局　費

事 業 名	事務局一般事務費	単位：円

事業内容	教育行政の推進にあたり必要となる人件費、需用費、役務費、負担金・補助金等の一般事務費。	計画値	遠野市教育振興基本計画検討委員会　４回 中学校再編成に係る説明会　51回 事業支援団体数　２団体
成果	適正な予算執行のもと各種事務及び事業を円滑に実施した。また、学校保健会、遠野高校情報ビジネス校振興協議会に対し補助金を交付し、各団体の活動への支援を図った。 さらには、将来における遠野市の教育の振興と歩むべき基本方向を示す教育振興基本計画を策定するとともに、中学生のより良い教育環境の実現を目指し、市民の意見、提言を取り入れながら、中学校再編成計画案を取りまとめた。 ※事務局職員人件費 62,490,715円（給料、職員手当、共済費）	実績値	遠野市教育振興基本計画検討委員会　５回 中学校再編成に係る説明会　57回 事業支援団体数　２団体

予　算　額	決　算　額	財　源　内　訳			
		国県支出金	地　方　債	そ　の　他	一般財源
86,602,000	84,680,966				84,680,966

10 款	教　育　費	1 項	教 育 総 務 費	2 目	事　務　局　費

事 業 名	学校保健管理費		単位：円
事業内容	学校保健法に基づき、小学校に入学する予定者に対し、あらかじめ健康診断等を行い、心身の状況を把握することで、義務教育の円滑な運営に資する。	計画値	就学時健診対象児童数　245人
成果	平成21年度に小学校へ入学する子供を対象に、10月２日から11月26日にかけて、市内各小学校で健康診断等を行い、事前に子供たちの心身状況を把握し、義務教育の円滑な実施に資することができた。	実績値	就学時健診実施児童数　230人

予　算　額	決　算　額	財　源　内　訳			
		国県支出金	地　方　債	そ　の　他	一般財源
495,000	396,458				396,458

10 款	教　育　費	1 項	教 育 総 務 費	2 目	事　務　局　費

事 業 名	私立幼稚園運営費補助金		単位：円
事業内容	幼児教育の振興を図るため、私立幼稚園の運営に要する費用に対し補助を行う。	計画値	私立幼稚園　２園
成果	私立幼稚園の健全な運営に寄与し、市内の幼児教育の振興が図られた。 ・光の園幼稚園　60人　550,000円 ・聖光幼稚園　62人　555,000円	実績値	私立幼稚園　２園

予　算　額	決　算　額	財　源　内　訳			
		国県支出金	地　方　債	そ　の　他	一般財源
1,105,000	1,105,000				1,105,000

10 款	教　育　費	1 項	教 育 総 務 費	2 目	事　務　局　費

事 業 名	私立幼稚園就園奨励事業費		単位：円
事業内容	私立幼稚園に就園する３歳児、４歳児及び５歳児の保護者の所得状況に応じて、私立幼稚園の設置者が徴収する保育料等を減免する設置者に対し、その減免分の補助を行う。	計画値	対象園児数　98人
成果	保護者の所得状況に応じて保育料の補助を行い、保護者の経済的負担を軽減し、幼稚園教育の振興に資した。 ・光の園幼稚園　50人（３歳児18人、４歳児９人、５歳児23人） ・聖光幼稚園　54人（３歳児13人、４歳児23人、５歳児18人）	実績値	対象園児数 104人

予　算　額	決　算　額	財　源　内　訳			
		国県支出金	地　方　債	そ　の　他	一般財源
8,647,000	8,265,300	2,195,000			6,070,300

10款	教育費	1項	教育総務費	2目	事務局費

事業名	私立幼稚園保育料助成事業費	単位：円

事業内容	遠野わらすっこプランの経済的支援策として、私立幼稚園に就園する園児の保育料を助成する。 平成19年度までの子育て支援事業に代わる事業で、第３子以降無料化から全体的な保育料の軽減を図る。 ・第１子園児の保育料を規定基準額から５％軽減 ・第２子園児の保育料を規定基準額から10％軽減 ・第３子以降園児の保育料は月額 4,800円の有料	計画値	保育料助成園児数 118人
成果	全体的な保育料の助成を行うことで、保護者の経済的負担の軽減と子育てに意欲を持つ環境をつくることに寄与した。 保育料助成園児数 123人 ・第１子園児 57人 ・第２子園児 44人 ・第３子以降園児 22人	実績値	保育料助成園児数 123人

予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
4,096,000	3,911,993				3,911,993

10款	教育費	1項	教育総務費	2目	事務局費

事業名	地域教育文化振興事業費	単位：円

事業内容	市内に組織された地域教育協議会に対し、運営に要する経費を補助し、組織の充実と地域の教育力の向上を図る。また、宮守町（小学校単位３地区）への地域教育協議会の設置に取り組む。 1　遠野町地域教育協議会　2　綾織町地域教育協議会 3　小友町地域教育協議会　4　附馬牛町子どもを育てる連絡協議会 5　松崎町地域教育協議会　6　土淵町地域教育協議会 7　青笹町地域教育協議会　8　上郷町地域教育協議会 【設置を計画する地区】 9　宮守地区　10　達曽部地区　11　鱒沢地区	計画値	地域教育協議会設置数　11地区
成果	市内９地区の地域教育協議会に対し、運営に要する経費を補助し、組織の充実と地域の教育力の向上を図った。また、宮守町（小学校単位３地区）に地域教育協議会が設置され、市内全地区に、学校・家庭・地域社会における教育の充実を地域ぐるみで実践する地域教育協議会の体制が整った。 1　遠野町地域教育協議会　2　綾織町地域教育協議会 3　小友町地域教育協議会　4　附馬牛町子どもを育てる連絡協議会 5　松崎町地域教育協議会　6　土淵町地域教育協議会 7　青笹町地域教育協議会　8　上郷町地域教育協議会 9　達曽部地域教育協議会（平成20年７月２日設置） 10　鱒沢地域教育協議会（平成21年３月17日設置…補助金支出なし） 11　宮守地域教育協議会（平成21年３月22日設置…補助金支出なし）	実績値	地域教育協議会設置数　11地区

予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
550,000	405,200				405,200

10款	教育費	1項	教育総務費	2目	事務局費

事業名	地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業費	単位：円

事業内容	スクールガードリーダーによる学校巡回及び通学路等の安全評価の実施、スクールガード（地域安全ボランティア）の養成を行い、地域社会全体で子どもの安全を見守る体制を整備する。	計画値	スクールガードリーダー活動計画時間数　479時間
成果	スクールガードリーダーによる市内全学校の巡回、通学路の安全点検及び安全パトロール等をきめ細かく実施するとともに、スクールガードと連携した見守り活動を効果的に行い、地域社会で学校安全に取り組むことができた。	実績値	スクールガードリーダー活動実績時間数　479時間

予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
510,000	509,534	500,000			9,534

10款	教育費	1項	教育総務費	2目	事務局費

事業名	学校教育一般事務費	単位：円

事業内容	学校教育に関する庶務一般。関係会議等の開催。また、指導主事の派遣による各小中学校の校内研究支援を行う。 さらに学校教職員の研修事業として臨時任用教員研修会、幼稚園・保育園・小学校交流会、知能検査テスター講習会を開催する。 また、遠野市生徒指導推進協議会、岩手県ことばを育む親の会、遠野市特別支援教育研究会事業への補助を行う。	計画値	指導主事の派遣回数　83回 研修会の開催件数　3回
成果	様々な教科の指導主事の派遣によって校内研究の充実を図り、児童生徒の学力向上につなぐことが出来た。 また、各種研修会では、課題とされる分野の研修を行うことで、学校教育の一層の充実が図られた。学校教育関係団体への補助についてもそれぞれの団体への支援を行うことが出来た。 ○予算額のうち30,799,000円は人件費（給料、職員手当、共済費） ○決算額のうち30,669,306円は人件費（給料、職員手当、共済費）	実績値	指導主事の派遣回数　122回 研修会の開催件数　3回

予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
31,644,000	31,305,654				31,305,654

10款	教育費	1項	教育総務費	2目	事務局費

事業名	文化行事奨励費	単位：円

事業内容	市内小学校音楽祭の開催、市内小中学校作品展の開催、小中学校作文コンクールを実施する。作文コンクールでは入賞作品を集めた児童生徒文集遠野を発行する。	計画値	音楽祭の開催　1回 作品展の開催　1回 作文コンクールの開催　1回 文集の印刷製本200冊
成果	小学校音楽祭は遠野テレビで放送することで、より多くの市民に対して視聴する機会を与えることが出来た。 作品展、作文コンクールについては多くの児童生徒の応募の中から優秀作品に対して表彰を行い、最優秀作品（小６、中３）については教育文化奨励賞への推薦も行った。また、作品展については、とぴあに展示することによりより多くの市民に見てもらうことができた。	実績値	音楽祭の開催　1回 作品展の開催　1回 作文コンクールの開催　1回 文集の印刷製本200冊

予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
378,000	314,857				314,857

10款	教育費	1項	教育総務費	2目	事務局費

事業名	外国人講師招へい事業費	単位：円

事業内容	中学校の英語教育や小学校の国際理解教育の支援を図るため、外国語指導助手（ALT）を招へいし、国際化に対応できる英語力の定着と、国際理解教育の推進を図る。	計画値	派遣学校数　19校 派遣日数　355日
成果	児童生徒は外国語指導助手から生きた英語を学ぶことができた。 中学校においては「聞くこと」「話すこと」に関する言語活動を中心に、生徒の能力向上を図ることができた。 小学校では、国際理解教育を進めることによって、「英語に興味を持つ児童」の育成を図るとともに、中学校で学習する英語の基礎能力向上につなげている。	実績値	派遣学校数　19校 派遣日数　350日

予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
8,653,000	8,202,790				8,202,790

10款	教育費	1項	教育総務費	2目	事務局費

事業名	就学指導委員会費	単位：円

事業内容	就学指導委員会を開催（３回）して、市内小中学校の児童生徒の就学に関する判断、支援を行う。	計画値	就学指導委員会の開催回数　３回 知能検査研修会の開催　１回
成果	就学前の児童については、知能検査等各種、教育相談を経て、よりよい就学環境を整えることが出来た。また、知能検査の実施にあたり事前に講習会を開催し、就学指導委員会に備えることが出来た。	実績値	就学指導委員会の開催回数　３回 知能検査研修会の開催　１回

予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
464,000	369,705				369,705

10款	教育費	1項	教育総務費	2目	事務局費

事業名	学校教育専門員配置事業費	単位：円

事業内容	学校教育専門員１名を配置し、市内小中学校19校に対して訪問指導を行う。 学力向上に向けて、校内研究や指導方法について具体的な指導支援を行い、教員の指導力の向上を図った。	計画値	実施校　19校 訪問日数　96日
成果	学力向上に関する指導・支援を行うことを通して、教員の指導力向上を図り、児童生徒が充実した学校生活を送ることができるように指導、助言を行った。	実績値	実施校　17校 訪問日数　55日

予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
376,000	147,710				147,710

10款	教育費	1項	教育総務費	2目	事務局費

事業名	適応支援相談員配置事業費	単位：円

事業内容	適応支援相談員を中学校１校に１名配置し、学校・家庭・地域・関係機関等との連携を強化し、不登校生徒の学校適応を図るとともに、配置中学校区内の小学校を訪問し、児童及び保護者との相談活動により学校不適応問題の未然防止と小・中学校の連携を推進する。	計画値	配置校数　１校 配置相談員数　１名 相談時間数　608時間
成果	生徒、教員のカウンセリング・助言、不登校生徒への対応を行った。学級担任、相談担当、養護教諭との定期的な情報交換を行うことで、教職員が統一した方針によって対応することができた。 また、養護教諭との連携、家庭訪問や電話連絡により家庭との調整を行い、不登校生徒の心身の健康や家庭環境について把握し、継続的、効果的な支援を行うことができた。	実績値	配置校数　１校 配置相談員数　１名 相談時間数　608時間

予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
900,000	802,710	679,000			123,710

10 款	教　育　費	1 項	教 育 総 務 費	2 目	事　務　局　費

事 業 名	子どもと親の相談員配置事業費	単位：円

事業内容	子どもと親の相談員を小学校１校に１名配置し、広く児童の心の問題に相談等で対応するとともに、家庭、友人関係、地域、学校等の環境の問題に対応するため、保護者や教職員への支援や学校体制のサポート、さらには関係機関との連携をとりながら問題の解決を図る。	計画値	配置校　１校 配置相談員数　１名 相談時間数　350時間
成果	保護者への相談、支援を行うことで学校と保護者の相互の信頼関係が築けた。また児童との相談においては、教職員の指導が実るようにふれあいの時間を大切にして相談にあたり、対象児童の担任につなげた。また、児童相談員とも連携をとりながら、情報交換や家庭訪問を行い、問題の理解と解決を図ることができた。	実績値	配置校　１校 配置相談員数　１名 相談時間数　350時間

予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
439,000	438,160	438,160			

10 款	教　育　費	1 項	教 育 総 務 費	2 目	事　務　局　費

事 業 名	特色ある学校づくり事業費	単位：円

事業内容	市内小中学校19校が、それぞれに企画・立案した事業計画をもとに、各校が地域の歴史・文化・伝統を生かして、農業体験、伝統芸能、地域理解学習等に取り組む。	計画値	実施校　19校 児童生徒の地域理解度　80％
成果	事業が展開される中で、学校と地域と家庭の連携が図られ、地域に開かれた学校及び特色のある学校づくりを推進することができた。 今年度の重点は地域理解学習であったが、各校の事業終了後に教員を対象に児童生徒の地域理解度に関してのアンケートを実施したところ、児童生徒が地域に対する理解を深めたと９割以上の教員の回答があったことからも、本事業の実施によって児童生徒の学習の推進が図られたと考えられる。	実績値	実施校　19校 児童生徒の地域理解度　93.07％

予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
1,900,000	1,826,959			1,824,000	2,959

10 款	教　育　費	1 項	教 育 総 務 費	2 目	事　務　局　費

事 業 名	特色ある学校づくり事業費（豊かな体験活動推進事業費）	単位：円

事業内容	宮守小学校５年生17名が、豊かな人間性や社会性を育むことを狙いとして市内（宮代地区、附馬牛地区）で３泊４日の農家宿泊及び農業体験、自然体験等の活動を行う。 また、本事業は県の調査研究事業であるため、その成果については報告集等で広く周知を行う。	計画値	実施校　１校
成果	参加児童は民泊や農業体験等を通して多くの人と触れ合うことにより、挨拶や応答などといった、人との関わり方を体得することができた。また、農業や郷土の食文化に直接触れるという体験を通して、地域の産業に対しての興味関心が高まった。 市内の農家への宿泊による体験活動となったが、普段生活している学区や家庭を離れて様々な体験を行うことでも十分に当初の目的が達成された。 また、活動の内容を報告集にまとめたり、東北・北海道の交流会（報告会）等で実施内容を発表することで、広くその成果を周知することができた。	実績値	実施校　１校

予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
1,029,000	1,025,595	1,025,595			

10 款	教　育　費	1 項	教 育 総 務 費	2 目	事　務　局　費

事 業 名	いわてコミュニティ・スクール推進事業費	単位：円

事業内容	学校長のリーダーシップによる、検証可能な「目標達成型の学校経営計画」を策定し、その目標を実現する家庭や地域と協働する学校経営の実施のために、特色ある地域との連携によるモデル的な学校経営を推進する。 遠野北小学校を実施校として、キャリア教育の視点を生かした郷土理解学習の推進を展開する。学年毎に学習テーマを設定し、直接体験を通じて地域の産業・自然・人・文化・歴史等についての学習を推進する。	計画値	実施校　1校
成果	キャリア教育の視点を生かした郷土理解学習が実施され、地域の人・自然・歴史・文化等を直接体験学習をすることにより、児童に感動的な喜びを与えることができた。これまで体験できなかった遠距離の神社、仏閣の史跡、工場施設等の本物を見るよい機会となった。 地域の人を講師に迎え、地域の歴史や文化、自然についての講話を聞いたり、昔話で聞いた民話の題材を生かして、学習発表会で全校児童や保護者に発表したり、まとめの冊子づくりに発展させ、学習の成果を挙げることができた。	実績値	実施校　1校

予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
200,000	200,000	200,000			

10 款	教　育　費	1 項	教 育 総 務 費	2 目	事　務　局　費

事 業 名	ふるさと学校体験推進事業費	単位：円

事業内容	武蔵野市の小学校児童20名を遠野市立小学校３校で受け入れ、交流を行う。児童の家庭を中心に市内10軒でホームステイを行いながら６泊７日の日程で体験留学を行う。	計画値	受入児童数　20名
成果	武蔵野市の児童を受け入れ、市内児童との交流を図ることができた。５年目の今年度は予定募集人員を超える申込みがあり、この事業の定着度がうかがえた。各受け入れ校では、それぞれ特色ある授業のなかに武蔵野市の児童を加え交流を図っていただいた。	実績値	受入児童数　19名

予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
302,000	230,938				230,938

10 款	教　育　費	1 項	教 育 総 務 費	2 目	事　務　局　費

事 業 名	平成・南部藩寺子屋交流事業費	単位：円

事業内容	根城南部氏の縁でつながりのある遠野市、八戸市、七戸町の児童がそれぞれの市町を訪問し、相互に交流を図る。日常生活と異なる集団活動の中で郷土の歴史や自然に親しみ、集団生活のあり方や、公衆道徳などの体験を積む。	計画値	参加児童　26名
成果	市内の11校から26名の児童が参加し、受入交流、派遣交流を通じて根城南部氏の縁でつながりのある各市町の歴史、文化等を学び、相互に交流を図った。八戸市児童47名、七戸町児童20名が参加した。 ・受入交流　平成20年７月25日（八戸市、七戸町児童来遠） ・派遣交流　平成20年８月３日～８月５日（八戸市、七戸町への遠野市児童派遣）	実績値	参加児童　26名

予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
913,000	878,410			878,000	410

10款	教育費	1項	教育総務費	3目	教育研究所費

事業名	教育研究所事業費（標準学力検査・学力向上事業費）	単位：円

事業内容	1　市内小中学校の児童生徒（小２～小６、中１～中３対象）に対してＮＲＴ（標準学力検査）を実施する。 2　幼児ことばの教室の運営、ことばの教室の補助員の配置、適応指導教室の運営を行う。また、ＮＲＴ（標準学力検査）を実施後に、その結果を基に各研究部会を開催し、課題に向けての研究、発表を行い、各学校へ還元する。 3　児童生徒が学習した成果の発表の場として環境科学発表会を開催し、優秀者に対し表彰を行う。	計画値	ＮＲＴの実施　１回 幼児ことばの教室相談員　１名 ことばの教室相談員　１名 教育相談員　１名 教育研究発表会開催　１回 環境科学発表会開催　１回
成果	1　市内小中学校の児童生徒（小２～６、中１～３対象）に対してＮＲＴ（標準学力検査）を実施し、その分析結果を学力向上事業、研究部会の研究に反映することができた。 2　幼児及び児童のことばの教室では、通級指導を受けることで、多くの児童がその障害を改善、解消することができた。また、適応指導教室では不登校児童への指導を行い、学校への復帰を支援することができた。 ＮＲＴ実施後の分析結果を基に、その課題に対して研究部会で研究を行うことで学力向上へ貢献することができた。 3　環境科学発表会では、環境及び科学に関する学習の成果を他校の児童生徒と発表することで、より広い視野をもたせることができた。また、環境問題に関して意識を高めさせることができた。	実績値	ＮＲＴの実施　１回 幼児ことばの教室相談員　１名 ことばの教室相談員　１名 教育相談員　１名 教育研究発表会開催　１回 環境科学発表会開催　１回

予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
6,820,000	6,328,078				6,328,078

10款	教育費	1項	教育総務費	3目	教育研究所費

事業名	教育研究所事業費（社会科副読本編集事業費）	単位：円

事業内容	地域理解の推進と郷土を愛する心を育むため、地域の教材を活用した小学校３・４年生向けの社会科副読本の印刷製本を行う。また、中学生向けの社会科副読本については内容をインターネットで閲覧して活用する。	計画値	小学校社会科副読本の印刷製本　300冊
成果	小学校については社会科副読本を印刷製本し、小学校３年生に配付した。 中学校についてはインターネットからの閲覧により活用した。	実績値	小学校社会科副読本の印刷製本　300冊

予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
532,000	531,350				531,350

10款	教育費	1項	教育総務費	4目	育英事業費

事業名	育英事業費	単位：円

事業内容	向学心に燃える優秀な学生であるものの、経済的事由により修学が困難である者に対し、学資の貸与を行い、有能な人材を育成することを目的とする。また、平成20年度から、子育て支援策として、大学生７人 、高校生３人の採用枠を増やす。	計画値	新規奨学生採用数 大学生等　30人 高校生　８人 継続奨学生 大学生等　56人 高校生　６人
成果	平成20年度は新たに35人(大学の学部又はこれと同程度の学校に在学する者27人、高等学校に在学する者８人)を決定し、継続貸与者59人(大学生等53人、高校生６人)と合わせて、合計94人に学資の貸与を行い、有能な人材の育成に努めた。 貸付状況 ・新規大学生等　27人　12,960,000円 ・新規高校生　８人　1,290,000円 ・継続大学生等　53人　25,240,000円 ・継続高校生　６人　1,080,000円 計　40,570,000円	実績値	新規奨学生採用数 大学生等　27人 高校生　８人 継続奨学生 大学生等　53人 高校生　６人

予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
43,940,000	40,943,095			35,968,136	4,974,959

10款	教育費	1項	教育総務費	5目	公舎管理費

事業名	公舎管理費	単位：円

事業内容	市立小中学校教職員の居住の用に供する公舎の管理及び使用に関し修繕などの必要な事務を行う。	計画値	教職員住宅 12棟
成果	教職員住宅の必要な維持管理及び修繕を行い、安全、安心な居住環境に資した。 ・修繕費　244,530円（５棟７件） ・建物火災保険料、下水道分担金　75,353円	実績値	教職員住宅 12棟 （入居12棟）

予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
324,000	319,883			319,883	

10款	教育費	2項	小学校費	1目	学校管理費

事業名	小学校一般管理費	単位：円

事業内容	市内小学校の運営に必要な一般維持管理費用。	計画値	小学校　11校 学級数　82学級 児童数　1,484人
成果	適正な予算執行のもと、市内小学校の健全な学校運営が行われた。 ・需用費　50,303,282円 ・役務費　6,952,086円 ・委託料　9,525,435円 ・使用料及び賃借料　5,778,190円 ・職員（用務員）人件費　39,166,822円 等	実績値	小学校　11校 学級数　82学級 児童数　1,484人

予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
121,640,000	112,373,325			199,246	112,174,079

10款	教育費	2項	小学校費	1目	学校管理費

事業名	校舎等維持管理費（一般）	単位：円

事業内容	公共施設ロングライフ事業（一括管理委託方式）によらないパソコン、音楽、体育等の特殊な備品の維持修繕、砕石等の原材料費などを当管理費で支出し、健全な学習環境に資する。	計画値	対象施設：小学校 11校
成果	学校との密な連携を取りながら、維持修繕、管理の迅速な対応に努め、学習環境の健全化を図った。 ・修繕料　289,080円 ・手数料　284,129円 ・原材料費　145,186円 ・計　718,395円	実績値	対象施設：小学校 11校

予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
950,000	718,395				718,395

10款	教育費	2項	小学校費	1目	学校管理費

事業名	校舎等維持管理費（単独・施設改修）	単位：円

事業内容	1　附馬牛小学校プールろ過器更新工事 2　鱒沢小学校防火扉改修工事 3　土淵小学校屋内運動場トイレ水洗化工事	計画値	・附馬牛小学校プールろ過器更新工事 ・鱒沢小学校防火扉改修工事 ・土淵小学校屋内運動場トイレ水洗化工事
成果	附馬牛小学校のプールろ過器更新工事、鱒沢小学校の防火扉改修工事、土淵小学校の屋内運動場トイレ水洗化工事により、教育環境の整備と教育財産の適正な維持管理を図った。 1　附馬牛小学校プールろ過器更新工事　5,481,000円 2　鱒沢小学校防火扉改修工事　4,873,050円 3　土淵小学校屋内運動場トイレ水洗化工事　7,249,800円等	実績値	・附馬牛小学校プールろ過器更新工事 ・鱒沢小学校防火扉改修工事 ・土淵小学校屋内運動場トイレ水洗化工事

予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
17,824,000	17,783,850		5,200,000		12,583,850

10款	教育費	2項	小学校費	1目	学校管理費

事業名	学校保健管理費	単位：円

事業内容	児童、教職員の健康診断及び衛生用品の購入等を行い、保健管理及び健康教育の活動を円滑に行う。	計画値	児童数　1486人 教職員数　137人
成果	児童及び教職員の健康の保持増進を図り、病気を予防することで健康教育に努めた。 内科・眼科・歯科健診（全児童）、耳鼻科健診、寄生虫卵検査（１～３年生）、心臓検診（１・４年生）、生活習慣病予防検診（４年生）、脊柱側わん検診（５・６年生）、尿検査（全児童）、教職員健診、教職員胃検診（35歳以上）	実績値	児童数　1484人 教職員数　130人

予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
8,706,000	8,385,080	16,000			8,369,080

10款	教育費	2項	小学校費	2目	教育振興費

事業名	通学対策費（スクールバス更新）	単位：円

事業内容	土淵小学校スクールバスの更新（平成６年登録車）	計画値	土淵小学校スクールバス更新（着座38人乗り）
成果	平成６年３月登録、15年経過の土淵小学校スクールバスの更新を行うことで、より安全で快適な通学に資した。 土淵小学校スクールバス（着座38人乗り） ・購入費　11,550,000円 ・公課費（重量税）　69,300円 ・役務費（自賠責保険料ほか）55,800円	実績値	土淵小学校スクールバス更新（着座38人乗り）

予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
11,722,000	11,675,100	3,040,000	8,500,000		135,100

10款	教育費	2項	小学校費	2目	教育振興費

事業名	通学対策費	単位：円

事業内容

1 小友小学校、土淵小学校、附馬牛小学校に通学する児童を対象にスクールバスやスクールワゴンを運行する。
2 遠野北小学校に通学する駒木地区の児童を対象に早池峰バスに運行を委託する。
3 上郷小学校（来内）、青笹小学校（中沢）に通学する一部児童を対象にタクシーを運行する。
4 宮守小学校、達曽部小学校、鱒沢小学校に通学する児童を対象にスクールバスを運行する。
5 遠距離通学児童（４㎞以上）に対し通学費の助成をする。
6 教育課程における児童移動のためのスクールバスを運行する。

計画値

・スクールバス・ワゴン等の運行（バス６台、ワゴン３台、タクシー２台、路線バス委託）
・遠距離通学費補助金対象児童：37人

成果

遠距離通学児童のため、スクールバス等の運行を行い、通学難の解消を図った。また、徒歩の遠距離通学児童に対して、通学費補助金の支給を行い、保護者負担の軽減を図った。

・小友、土淵小スクールバス委託料　4,620,000円
・土淵、附馬牛小スクールワゴン委託料　2,936,500円
・早池峰バス委託料　1,731,906円
・上郷、青笹小学校スクールタクシー委託料　789,350円
・宮守、達曽部、鱒沢小学校スクールバス委託料　6,251,805円
・遠距離通学補助金　291,200円
・スクールバス特別運行委託料　861,525円
・車両管理費用等　5,049,480円

実績値

・スクールバス・ワゴン等の運行（バス６台、ワゴン３台、タクシー２台、路線バス委託）
・遠距離通学費補助金対象児童：39人

予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
23,392,000	22,531,766				22,531,766

10款	教育費	2項	小学校費	2目	教育振興費

事業名	教材整備費	単位：円

事業内容

各小学校運営のために必要な教材備品と図書の購入及びパソコンのリースを行う。

計画値

・教材備品購入
・図書購入
・パソコンリース

成果

各小学校において必要な教材備品を整備するとともに、図書購入にあっては各校の充足率を高める予算措置を行い、教育環境の充実を図った。また、パソコンリースにおいては更新に併せて教職員への公用パソコン配置も計画的に実施した。

・教材備品購入費　2,821,860円
・図書購入費　3,065,441円
・パソコンリース料　16,801,260円 等

実績値

・教材備品購入　(88件)
・図書購入　(2,102冊)
・パソコンリース　(323台)

予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
24,299,000	23,849,816				23,849,816

10款	教育費	2項	小学校費	2目	教育振興費

事業名	指導用教材整備費	単位：円

事業内容

小学校教師用教科書、指導書の整備を行う。

計画値

教師用教科書　11冊
教師用指導書　11冊

成果

学校内での調整により、今年度は新しい教科書及び指導書の需要がなかった。

実績値

教師用教科書　0冊
教師用指導書　0冊

予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
116,000	0				

10款	教育費	2項	小学校費	2目	教育振興費

事業名	就学援助費	単位：円

事業内容	経済的理由により、就学が困難である児童の保護者に対して、学用品費、校外活動費、新入学児童学用品費、修学旅行費、通学費、学校給食費、学校病医療費を支給し、義務教育の円滑な実施を図る。	計画値	支給児童数　90人
成果	就学困難な児童の保護者に対して必要な援助を行い、義務教育の円滑な実施を図った。 学用品費　107人　1,427,209円　校外活動費　19人　46,337円 新入学用品費　14人　271,968円　修学旅行費　21人　464,344円 通学費　5人　28,000円　学校給食費　107人　4,274,491円 学校病医療費　15人　215,281円	実績値	支給児童数　110人

予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
6,753,000	6,727,630	70,000			6,657,630

10款	教育費	2項	小学校費	2目	教育振興費

事業名	特別支援教育関係費	単位：円

事業内容	特別支援学級及びことばの教室の活動支援を行う。	計画値	特別支援学級 対象校：５校６学級 対象児童：13人 ことばの教室 設置校：２校 対象児童：30人
成果	特別支援学級及びことばの教室に対する消耗品費、印刷製本費の配当とともに、ことばの教室通学費補助金を５人に支給し、活動の支援を図った。	実績値	特別支援学級 対象校：５校６学級 対象児童：13人 ことばの教室 設置校：２校 対象児童：30人 通学費補助：５人

予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
738,000	442,528				442,528

10款	教育費	2項	小学校費	2目	教育振興費

事業名	特別支援教育就学奨励費	単位：円

事業内容	特別支援学級に就学する児童の保護者の経済的負担を軽減するため、その負担能力の程度に応じ、就学のための学校給食費、修学旅行費、校外活動費、学用品費、新入学用品費、通学用品費を支給し、特別支援教育の円滑な実施を図る。	計画値	支給児童数　13人
成果	特別支援教育の機会均等を図るため、児童の保護者に対して必要な援助を行い、特別支援学級に就学する児童の保護者の経済的負担を軽減した。 学校給食費　13人　260,100円　学用品費　13人　78,221円 修学旅行費　1人　10,300円　新入学用品費　0人　0円 校外活動費　12人　9,060円　通学用品費　12人　13,020円	実績値	支給児童数　13人

予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
405,000	370,701	120,000			250,701

10 款	教　育　費	2 項	小　学　校　費	2 目	教　育　振　興　費

事 業 名	体育・文化行事奨励費	単位：円

事業内容	小学校体育協会に対して事業補助を行い、市内小学校の体育事業に対して支援を行う。	計画値	事業補助　１団体
成果	市内水泳記録会、陸上記録会の開催を支援することができた。	実績値	事業補助　１団体

予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
693,000	693,000				693,000

10 款	教　育　費	2 項	小　学　校　費	2 目	教　育　振　興　費

事 業 名	教育研究指定校費	単位：円

事業内容	土淵小学校、遠野北小学校に研究指定を行う。遠野北小学校は平成19年度から研究指定を行っており、２年目の今年度は学校公開を行い、市内はもとより、県内の学校に対して研究の成果を発表する。 また、土淵小学校は指定の１年目で、土淵中学校と連携した教科における生徒指導の三機能（自己存在感、共感的人間関係、自己決定）を生かした指導の研究指定を行う。	計画値	研究指定校　２校 学校公開研究会開催　１回
成果	遠野北小学校については学校公開に向けて研究を行うとともに、学習指導案集の作成、研究紀要の作成、研究のまとめを作成した。学校公開を行うことでその研究の成果を市内の小学校にも還元することができた。 土淵小学校は１年目として基礎的研究を進め、２年目となる次年度に向けて研究課題等を整理することができた。	実績値	研究指定校　２校 学校公開研究会開催　１回

予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
263,000	255,085				255,085

10 款	教　育　費	2 項	小　学　校　費	2 目	教　育　振　興　費

事 業 名	特別支援教育推進事業費	単位：円

事業内容	通常学級の児童で個別に支援を必要とする児童に対して特別支援教育支援員を配置し、担任の補助、児童への支援を行なう。 また、遠野小学校、遠野北小学校以外の小学校において言語指導が必要な児童に対して巡回指導を実施する。 さらに、遠野市内の学校に通学を希望する日本語を話せない外国人を対象とした日本語講師を配置し、対象児童生徒に日本語の指導を行う。	計画値	特別支援教育支援員　８名 ことばの教室巡回指導講師　１名 日本語指導講師　１名
成果	特別支援教育支援員については、通常学級において支援が必要な児童に対して配置し、生活上、学習上の支援を行った。 ことばの教室巡回指導は、７校14名の児童を対象として指導を行い、改善に向けて効果的な指導ができた。 日本語指導講師は１名配置し、日本語を指導し、学校生活を支援することができた。	実績値	特別支援教育支援員　８名 ことばの教室巡回指導講師　１名 日本語指導講師　１名

予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
10,000,000	8,942,222				8,942,222

10 款	教　育　費	2 項	小　学　校　費	3 目	学　校　建　設　費

事 業 名	綾織小学校改築整備事業費	単位：円

事業内容	校舎の改築 平成19年度　基本構想（平成18年度繰越分） 平成20年度　基本計画・基本設計（平成19年度繰越分） 実施設計、地質調査 平成21～22年度　校舎改築工事	計画値	【平成19年度繰越分】 基本計画・基本設計 【平成20年度分】 実施設計、地質調査
成果	平成20年１月30日から基本計画・基本設計業務に着手したが、年度内での履行が困難なことから、平成20年度に事業を繰り越し、地域との協議を進め、平成20年８月29日に基本計画・基本設計業務が完成した。さらに、基本設計について地域合意を得たことから、地質調査、実施設計業務を行い、平成21年３月20日に実施設計業務が完成した。 【平成19年度繰越分】基本計画・基本設計業務 5,040,000円 【平成20年度分】実施設計業務　8,190,000円 地質調査業務　2,221,800円	実績値	【平成19年度繰越分】 基本計画・基本設計 【平成20年度分】 実施設計、地質調査

予　算　額	決　算　額	財　源　内　訳			
		国県支出金	地　方　債	そ　の　他	一般財源
16,112,000	15,451,800				15,451,800

10 款	教　育　費	2 項	小　学　校　費	3 目	学　校　建　設　費

事 業 名	遠野北小学校大規模改造等事業費	単位：円

事業内容	老朽化した校舎の大規模改造（校舎面積 3,319㎡）、屋内運動場及びプールの改築により、教育環境の整備を進める。 ・平成18年度　校舎耐震診断、屋内運動場耐力度調査 ・平成19年度　校舎大規模改造実施設計 ・平成20年度　校舎大規模改造工事 屋内運動場改築実施設計、地質調査 ・平成21年度　校舎大規模改造工事 屋内運動場改築工事 プール改築実施設計、改築工事	計画値	・校舎大規模改造工事 ・屋内運動場改築実施設計及び地質調査
成果	事業計画に基づき、校舎の大規模改造工事 2,370㎡を行った。また、屋内運動場改築の実施設計及び地質調査を行った。 ・校舎大規模改造工事　158,189,350円 ・校舎大規模改造工事工事監理等　3,613,050円 ・屋内運動場実施設計及び地質調査　8,032,500円	実績値	・校舎大規模改造工事 ・屋内運動場改築実施設計及び地質調査

予　算　額	決　算　額	財　源　内　訳			
		国県支出金	地　方　債	そ　の　他	一般財源
169,836,000	169,834,900	53,866,000	79,600,000		36,368,900

10款	教育費	2項	小学校費	3目	学校建設費

事業名	小学校施設耐震補強事業費	単位：円

事業内容	平成18年度に実施した耐震診断の結果、補強が必要と判定された３小学校の耐震改修設計を実施する。 ・遠野小学校（校舎） ・鱒沢小学校（校舎） ・土淵小学校（屋内運動場）	計画値	【平成19年度繰越分】 耐震改修設計対象　３校
成果	平成19年12月補正で予算措置した耐震改修設計委託料及び判定手数料を、平成20年度に繰り越し、平成20年６月25日に耐震改修設計業務が完成した。さらに、当設計に基づく耐震改修工事の判定を受け、耐震化に向け準備が整った。 ・耐震改修設計業務　4,987,500円 ・耐震改修判定手数料　810,075円	実績値	【平成19年度繰越分】 耐震改修設計対象　３校

予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
6,150,000	5,797,575				5,797,575

10款	教育費	3項	中学校費	1目	学校管理費

事業名	中学校一般管理費	単位：円

事業内容	市内中学校の運営に必要な一般維持管理費用。	計画値	中学校　８校 学級数　39学級 生徒数　861人
成果	適正な予算執行のもと、市内中学校の健全な学校運営が行われた。 ・需用費　45,914,812円 ・役務費　5,311,386円 ・委託料　9,015,953円 ・使用料及び賃借料　4,057,021円 ・職員（用務員）人件費　55,152,736円 等	実績値	中学校　８校 学級数　39学級 生徒数　861人

予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
124,306,000	119,556,948			40,119	119,516,829

10款	教育費	3項	中学校費	1目	学校管理費

事業名	校舎等維持管理費（一般）	単位：円

事業内容	公共施設ロングライフ事業（一括管理委託方式）によらないパソコン、音楽、体育等の特殊な備品の維持修繕、砕石等の原材料費などを当管理費で支出し、健全な学習環境に資する。	計画値	対象施設：中学校 ８校
成果	学校との密な連携を取りながら、維持修繕、管理の迅速な対応に努め、学習環境の健全化を図った。 ・修繕料　2,178,173円 ・手数料　247,278円 ・原材料費　342,689円	実績値	対象施設：中学校 ８校

予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
2,850,000	2,768,140				2,768,140

10款	教育費	3項	中学校費	1目	学校管理費

事業名	学校保健管理費	単位：円

事業内容	生徒、教職員の健康診断及び衛生用品の購入等を行い、保健管理及び健康教育の活動を円滑に行う。	計画値	生徒数　861人 教職員数　102人
成果	生徒及び教職員の健康の保持増進を図り、病気を予防することで健康教育に努めた。 内科・眼科・歯科健診（全生徒）、耳鼻科健診、貧血検査（１・３年生）、心臓検診（１年生）、生活習慣病予防検診（１年生）、脊柱側わん検診（１年生）、尿検査（全生徒）、教職員健診、教職員胃検診（35歳以上）	実績値	生徒数　854人 教職員数　99人

予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
6,261,000	5,778,169	15,000			5,763,169

10款	教育費	3項	中学校費	2目	教育振興費

事業名	通学対策費	単位：円

事業内容	１　宮守中学校に通学する旧達曽部中学校学区及び旧鱒沢中学校学区の生徒を対象にスクールバスを運行する。 ２　遠距離通学生徒（６㎞以上）に対し通学費の助成をする。 ３　教育課程における生徒移動のためのスクールバスを運行する。	計画値	・スクールバスの運行（３台） ・遠距離通学費補助金対象生徒：40人
成果	遠距離通学生徒のため、スクールバスの運行を行い、通学難の解消を図った。また、徒歩の遠距離通学生徒に対して、通学費補助金の支給を行い、保護者負担の軽減を図った。 ・宮守中学校スクールバス委託料　5,455,695円 ・遠距離通学費補助金　212,000円 ・スクールバス特別運行委託料　549,675円 ・車両管理費用　1,678,429円	実績値	・スクールバスの運行（３台） ・遠距離通学費補助金対象生徒：29人

予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
8,443,000	7,895,799				7,895,799

10款	教育費	3項	中学校費	2目	教育振興費

事業名	教材整備費	単位：円

事業内容	各中学校運営のために必要な教材備品と図書の購入及びパソコンのリースを行う。	計画値	・教材備品購入 ・図書購入 ・パソコンリース
成果	各中学校において必要な教材備品を整備するとともに、図書購入にあっては各校の充足率を高める予算措置を行い、教育環境の充実を図った。また、パソコンリースにおいては更新に併せて教職員への公用パソコン配置も計画的に実施した。 ・教材備品購入費　1,998,920円 ・図書購入費　3,164,188円 ・パソコンリース料　14,508,655円 等	実績値	・教材備品購入 (59件) ・図書購入 (1,892冊) ・パソコンリース (253台)

予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
21,299,000	21,048,849				21,048,849

10款	教育費	3項	中学校費	2目	教育振興費

事業名	指導用教材整備費	単位：円

事業内容	中学校教師用教科書、指導書等の整備を行う。	計画値	教師用教科書　８冊 教師用指導書　８冊
成果	不足する非常勤講師用教科書の整備を行った。	実績値	非常勤講師用教科書　４冊

予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
60,000	4,454				4,454

10款	教育費	3項	中学校費	2目	教育振興費

事業名	就学援助費	単位：円

事業内容	経済的理由により、就学が困難である生徒の保護者に対して、学用品費、校外活動費、新入学生徒学用品費、修学旅行費、通学費、学校給食費、学校病医療費を支給し、義務教育の円滑な実施を図る。	計画値	支給生徒数　85人
成果	就学困難な生徒の保護者に対して必要な援助を行い、義務教育の円滑な実施を図った。 学用品費　93人　2,321,094円　　校外活動費　2人　9,520円 新入学用品費　32人　728,983円　　修学旅行費　28人　2,069,679円 通学費　6人　64,460円　　学校給食費　93人　4,601,280円 学校病医療費　10人　158,717円	実績値	支給生徒数　94人

予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
9,990,000	9,953,733	20,000			9,933,733

10 款	教　育　費	3 項	中　学　校　費	2 目	教　育　振　興　費

事 業 名	特別支援教育関係費	単位：円

事業内容	特別支援学級の活動支援を行う。	計画値	特別支援学級 対象校：３校３学級 対象生徒：９人
成果	特別支援学級に対し、消耗品費及び印刷製本費を配当し、活動の支援を行った。	実績値	特別支援学級 対象校：３校３学級 対象生徒：９人

予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
288,000	208,433				208,433

10 款	教　育　費	3 項	中　学　校　費	2 目	教　育　振　興　費

事 業 名	特別支援教育就学奨励費	単位：円

事業内容	特別支援学級に就学する生徒の保護者の経済的負担を軽減するため、その負担能力の程度に応じ、就学のための学校給食費、修学旅行費、校外活動費、学用品費、新入学用品費、通学用品費を支給し、特別支援教育の円滑な実施に努める。	計画値	支給生徒数　９人
成果	特別支援教育の機会均等を図るため、生徒の保護者に対して必要な援助を行い、特別支援教育に就学する生徒の保護者の経済的負担を軽減した。 学校給食費　5人　125,375円　　学用品費　5人　71,310円 修学旅行費　3人　83,850円　　新入学用品費　1人　11,450円 校外活動費　1人　1,090円　　通学用品費　4人　4,340円	実績値	支給生徒数　５人

予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
356,000	297,415	94,000			203,415

10 款	教　育　費	3 項	中　学　校　費	2 目	教　育　振　興　費

事 業 名	体育・文化行事奨励費	単位：円

事業内容	中学校体育連盟事業への補助、及び県大会、全国大会等への選手派遣についての助成を行う。 また、中学校文化連盟に対する補助を行い、市内中学校の文化活動に対する支援を行う。	計画値	事業補助　２団体
成果	中学校体育連盟は市内地区大会の開催に係る事業支援を行った。また、各競技で県大会、東北大会出場校及び選手の交通費、宿泊費の補助を行うことで中学生の部活動の支援を行うことができた。 中学校文化連盟に対しても事業補助を行い、市内中文祭開催をはじめ、各種文化活動の支援を行うことができた。	実績値	事業補助　２団体

予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
2,860,000	2,848,000				2,848,000

10款	教育費	3項	中学校費	2目	教育振興費

事業名	教育研究指定校費	単位：円

事業内容	遠野中学校は教育課程全般に関する研究指定の２年目であることから学校公開を行い、市内はもとより、県内の学校に対して研究の成果を発表する。 また、土淵中学校は指定の１年目で、土淵小学校との小中連携した教科における生徒指導の三機能（自己存在感、共感的人間関係、自己決定）を生かした指導の研究指定を行う。	計画値	研究指定校　２校
成果	遠野中学校については学校公開に向けて研究を行うとともに、学習指導案集の作成、研究紀要の作成、研究のまとめを作成した。学校公開を行うことでその研究の成果を市内の中学校にも還元することができた。 土淵中学校は１年目として基礎的研究を進め、２年目となる次年度に向けて研究課題等を整理することができた。	実績値	研究指定校　２校

予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
263,000	252,350				252,350

10款	教育費	4項	幼稚園費	1目	幼稚園費

事業名	幼稚園運営事業費	単位：円

事業内容	教育基本法・学校教育法・幼稚園教育要領等の示すところに従い、幼児の教育を行う。	計画値	宮守幼稚園 鱒沢幼稚園 達曽部幼稚園 開所延日数　699日 就園児童数　432人
成果	幼児期に身に付けさせたい基本的生活習慣と、体を動かす楽しさを子ども自身が獲得していくことができるように指導した結果、子どもたちも興味を持って取り組むようになった。	実績値	宮守幼稚園 鱒沢幼稚園 達曽部幼稚園 開所延日数　699日 就園児童数　458人

予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
27,184,000	26,784,384			4,378,440	22,405,944

10款	教育費	5項	社会教育費	1目	社会教育総務費

事業名	社会教育一般事務費	単位：円

事業内容	１　社会教育事業の運営に係る一般事務 ２　岩手県更生保護協会事業補助 ３　加盟団体（全国生涯学習市町村協議会、岩手県社会教育連絡協議会）に対する負担金 ４　職員人件費等	計画値	補助金・負担金　３件
成果	１　社会教育一般に係る事務を行い、内部事務の円滑な運営を行った。 ２　岩手県更生保護協会事業に補助金を交付し、犯罪や非行を犯した人たちの更生の取り組みを支援した。	実績値	補助金・負担金　３件

予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
55,970,000	55,716,146				55,716,146

10 款	教　　育　　費	5 項	社 会 教 育 費	1 目	社会教育総務費

事 業 名	生涯学習のまちづくり推進費	単位：円

事業内容	市民センター及び地区センターの生涯学習事業の推進、学びの出前講座などを開催する。 ①市民センター生涯学習事業の推進、学びの出前講座など学級講座及び各地区センター又は複数の地区が連携して行う学級・講座の開催 ②男女共同参画関係講座の開催 ③家庭教育関係講座の開催 ④民話のまち遠野ウォーキング大会の開催	計画値	学級講座開催　60回 受講者数　4,000人
成果	市民センター及び各地区センターで生涯学習講座を60講座開催し、学習機会の提供とその奨励を図ることができた。 地区センター講座　41講座（1,997名） 市民センター講座　19講座（　548名）	実績値	学級講座数　60回 受講者数　2,545人 （スポーツ健康課講座含　4,247人）

予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
1,610,000	1,309,636				1,309,636

10 款	教　　育　　費	5 項	社 会 教 育 費	1 目	社会教育総務費

事 業 名	青少年活動サポート事業費	単位：円

事業内容	本年度の青少年活動サポート事業については、下記の３つの柱とする活動を行う。 １成人式「はたちのつどい」 ２少年少女囲碁・将棋教室 ３各種団体への補助及び補助金交付（遠野こどもまつり、遠野市青年団体協議会）	計画値	成人式対象者 市内252人、市外84人、合計336人 囲碁将棋教室 囲碁の部20人、将棋の部20人、合計40人
成果	１成人式（はたちのつどい） ・内容…主役となる新成人が成人式実行委員会を立上げ、企画・立案及び式の進行をすることで、社会人としての自覚を高めるとともに、地域の方々と一緒になって大人への門出をお祝いする。 ・成果…実行委員を立上げたことで、自分達が考えたイベントを行うことで記念にもなり、行政がアドバイスすることで「市民協働」の成人式をおこなうことが出来た。 成人者287名（市内211名、市外76名）、参加率85.54%、来賓104名、一般234名、職員・青年会38名・・・総計663名 ２少年少女囲碁・将棋教室 ・内容…余暇時間について、子どもたちが有意義に過ごせる場所の提供と囲碁・将棋の対局を通して他校の児童・生徒との交流､指導者との交流することで、より幅広い体験の機会を設け､集中力等を向上させるができ、指導者についても老人囲碁クラブの方々や将棋の協会の方による地域の人々の協力で市民協働を図れる。 ・成果…年間活動９回を通して、将棋の登録者20名中で皆勤者５名に準皆勤賞５名、囲碁の登録者７名中で皆勤者３名に準皆勤賞１名であり、活動については、ほぼ計画通りである。また、今年度から名札を個々に配ったり、名札の裏に実施日を記載したりなど、参加しやすい工夫をした。 ３各種団体への補助及び補助金交付 ・内容…こどもまつりを開催する「遠野こどもまつり実行委員会」に対して補助金を交付し、こどもまつり開催の支援及び「遠野市青少年を育てる市民会議」では、青少年の健全育成のための種々の活動を支援を図る。 ・成果…遠野こどもまつりとして、児童館事業のわくわくフェスティバルと協同開催した。運動公園のｽﾍﾟｰｽを有効に使い、大人が興味をひくことと子どもが楽しめる場所が出来たことで、うまく相乗効果を図ることができたと考えられる。	実績値	成人式参加者 市内211人、市外76人、合計287人 (参加率85.54%) 囲碁・将棋教室 囲碁の部22人、将棋の部７人、合計29人

予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
1,465,000	1,210,682				1,210,682

10款	教育費	5項	社会教育費	1目	社会教育総務費

事業名	芸術文化振興事業費	単位：円

事業内容	1　芸術文化の高揚、活性化を図るため、芸術文化団体等への支援を行い、活動の発表の機会と場の提供に努める。 2　郷土の優れた芸術文化を振興するため、遠野物語ファンタジーを開催し、潤いのある市民生活の創造に努める。 3　演劇や演奏会等を行うなど、優れた芸術文化に触れる機会の充実に努める。 4　遠野市民センターバレエスタジオ、遠野少年少女合唱隊の充実を図り、幼年層から芸術文化に親しむ場と機会を提供する。	計画値	芸術文化協会加盟団体の自主事業数 9回 市民協働の自主事業の参加者数 1,750人 市民協働の自主事業の鑑賞者数 7,600人
成果	1　遠野市芸術文化協会加盟（16団体）自主事業発表会 (1)第３回遠野市民芸術祭 ○10月26日（日）合同茶会　　観覧者260人、参加者41人 ○11月１日（土）～３日（月） ・舞台合同発表会　観覧者814人、参加者463人（32団体） ・総合展示会、菊花展 観覧者1,732人、参加者445人（25団体4個人、1,384点） (2)遠野市芸術文化協会等主催事業 ・大ホール6団体　観覧者3,891人、参加者620人 ・中ホール4団体　観覧者450人、参加者190人 ・みやもりホール5団体　観覧者1,140人、参加者203人 ・とぴあ1団体　観覧者150人、参加者25人 2　第34回市民の舞台遠野物語ファンタジー「火渡館の変」 ・平成21年１月31日（土）、２月１日（日） ３回公演（遠野市民センター大ホール） ・観覧者　2,011人 ・参加者325人（スタッフ、キャスト、音楽（合唱、吹奏楽）） 3　演劇・演奏会等の開催 (1)宝くじまちの音楽会 「南こうせつwithウー・ファン　心のうたコンサート」 6月28日（土）、市民センター大ホール、観覧者870人 (2)市原悦子「朗読とお話の世界」 7月25日（金）、みやもりホール、観覧者284人 (3)松竹特別公演「嘉島まつり」「狐狸狐狸ばなし」 8月27日（水）、市民センター大ホール、観覧者510人 (4)あんべ光俊　それからの『遠野物語』コンサート 12月７日（日）、市民センター大ホール 観覧者674人、参加者174人 4　遠野市民センターバレエスタジオ、遠野少年少女合唱隊の充実 (1)遠野市民センターバレエスタジオ ・毎週、金・土曜日の通常レッスン ・第31回発表会 11月23日（日）市民センター大ホール 観覧者517人、参加者106人 (2)遠野少年少女合唱隊 ・毎週土曜日の通常レッスン ・第19回発表会　11月29日（土）市民センター中ホール 観覧者71人、参加者45人	実績値	芸術文化協会加盟団体の自主事業数16回 市民協働の自主事業の参加者数 2,463人 市民協働の自主事業の鑑賞者数11,036人

予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
24,311,000	23,415,312			20,902,200	2,513,112

10款	教育費	5項	社会教育費	1目	社会教育総務費

事業名	と・お・のいきいき参画プラン推進事業費	単位：円

事業内容	個人の人権が尊重され、男女が性別にとらわれることなく、その個性と能力を十分に発揮することができる男女共同参画社会の形成を推進するため、「と・お・のいきいき参画プラン-遠野市男女共同参画基本計画-」について市民への意識啓発を行う。	計画値	補助金　１件
成果	関係団体と連携し、男女共同参画基本計画の一部見直しを行った。	実績値	補助金　１件

予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
446,000	209,856				209,856

10款	教育費	5項	社会教育費	1目	社会教育総務費

事業名	家庭教育支援総合推進事業費	単位：円

事業内容	計画値
家庭における教育を支援することを目的に家庭教育に関する学習機会の提供と充実を図る。 ・家庭教育ゼミナールの開催 ・家庭教育講演会の開催	家庭教育ゼミナール 開催　12回 家庭教育ゼミナール 参加者　1,000人 家庭教育講演会 1回
成果 ・当課の事業の一つである「地域で子供を育てる活動発表会」の中で岩手大学教育学部教授による家庭教育講演会を実施し、多くのＰＴＡ会員に家庭教育について学習機会を提供することができた。 ・家庭教育ゼミナールを開催した。市内12会場、参加者1,125人	**実績値** 家庭教育ゼミナール 開催　12回 家庭教育ゼミナール 参加者　1,125人 家庭教育講演会 1回

予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
485,000	285,095				285,095

10款	教育費	5項	社会教育費	1目	社会教育総務費

事業名	学社連携プログラム推進事業費	単位：円

事業内容	計画値
本年度の学社連携プログラム推進事業については、下記の４つの柱とする活動を行う。 １　少年少女ふるさと発見探偵団 ２　子ども活動サポーター ３　放課後子どもプラン ４　子ども寺子屋放送局	少年少女ふるさと発見探偵団 活動回数　７回 登録団員　25人 延べ参加人数　175人
成果 １　少年少女ふるさと発見探偵団 ・内容…市内の異なる地域・異なる年齢の子どもたち（小学４～６年生）が、郷土の自然や歴史を楽しく学びながら、共に様々な体験活動を通して、集団の中でお互いに協調し、充実した人間関係を築き、社会の規範を守ることができる子どもの育成を図ることを目的に、年７回を実施した。 ・成果…登録団員が22人、年間を通して７回の活動を行い、延べ参加団員が132人(保護者参加が延べ13人)であった。 ２　子ども活動サポーター ・内容…子どもが規律のある団体行動が行うことができるような声がけや子どもたちに危険がないように見守ること、諸々の子どもたちの相談に応じてもらうこととともに、サポーター自ら指導者としての学習を行い、新しい時代を担うリーダーとしての向上を図る。 ・成果…一般、岩手大学及び市内高校からボランティアを募集して登録者25人。ふるさと発見探偵団の活動やこどもまつりに参加した。 ３　放課後子どもプラン ・内容…児童館・学校・地域と連携し放課後子ども教室を開催し、安全な放課後の居場所づくりとともに子どもたちの自主学習の仕方や習慣化の契機づくりを図る。 ・成果…放課後こども教室を６小学校で開催し、学習アドバイザー、安全管理員を派遣し６教室で延べ235回実施した。	**実績値** 少年少女ふるさと発見探偵団 活動回数　７回 登録団員　22人 延べ参加人数　132人 放課後子ども教室 ６教室(小学校区)

予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
2,493,000	2,003,282	1,120,000			883,282

10款	教育費	5項	社会教育費	1目	社会教育総務費

事業名	都市交流推進事業費	単位：円

事業内容	計画値
・　武蔵野市との児童交流により、普段の生活と違った体験を行うことによる人づくりとまちづくりを進める。 ・　サレルノ姉妹都市交流により、人、文化の交流から市民の国際理解と国際協力思想の高揚を図る。	武蔵野市児童交流派遣 小学生20人、引率保護者4人、事務局2人 サレルノ姉妹都市交流 サレルノ国際映画祭遠野賞１
成果 ・　武蔵野市との児童交流 市内小学生４年生、６年生20人派遣　引率保護者４人　事務局２人 ・　サレルノ姉妹都市交流 サレルノ国際映画祭遠野賞、カレンダーの送付	**実績値** 武蔵野市児童交流派遣 小学生20人、引率保護者4人、事務局2人 サレルノ姉妹都市交流 サレルノ国際映画祭遠野賞１

予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
818,000	760,666			760,666	

10款	教育費	5項	社会教育費	2目	公民館費

事業名	公民館一般管理費	単位：円

事業内容	地区センター施設の適正な維持管理に心がけ、地域活動、生涯学習施設として地域住民が集い、安全で快適に地域づくり活動や学習活動ができる環境をつくる。	計画値	H20公民館使用料 計画　650､000円 平成19年度実績 利用件数　3,608件 利用人数 70,651人
成果	施設を適正に維持管理したことにより、人身事故等もなく、施設の提供ができた。 地域活動、生涯学習の場として、地域住民が集い、地域づくり活動や学習活動に利用された。	実績値	H20公民館使用料 実績　1,277,822円 平成20年度実績 利用件数　3,700件 利用人数 67,280人

予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
37,301,000	32,217,581			1,954,915	30,262,666

10款	教育費	5項	社会教育費	2目	公民館費

事業名	文化交流施設管理費	単位：円

事業内容	・　施設の管理運営や文化の発信、生涯学習、交流の場としてのサービスを図る。 ・　効率的な施設管理、運営を行うため、民間活力を生かし、指定管理者を指定する。	計画値	施設利用者数 12,000人
成果	市民の憩いの場、各種団体の交流の場として積極的に活用された。 発表会、演奏会等では、舞台操作の専門スタッフが充実したサービスを提供し、利用者・来場者から好評であった。	実績値	施設利用件数 700件 施設利用者数 16,608人

予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
18,407,000	18,403,835				18,403,835

10款	教育費	5項	社会教育費	3目	図書館博物館費

事業名	図書館・博物館一般管理費	単位：円

事業内容	利用者が安心して利用することができるように、図書館博物館の維持管理のために必要な業務を行う。 職員の人件費、光熱水費、通信費用の支払。施設の修繕。 必要な消耗品、燃料の購入。各施設の火災保険加入。 警備、清掃及び各種保守点検の委託、複写機等の借り上げ等を実施。	計画値	館内清掃12ヶ月 夜間警備12ヶ月 水質検査2回 照明音響映像機器点検12回、ボイラ整備点検1回、空調機器点検3回、油タンク点検清掃1回、エレベーター点検12回
成果	博物館トイレ修繕1箇所、冷却水循環配管修繕1箇所、消防設備不良箇所修繕。 館内清掃業務12ヶ月、館内夜間警備業務12ヶ月。 館内水質検査2回、電気点検6回、照明音響映像点検12回、ボイラー整備点検1回、油タンク点検1回、エレベーター点検12回、空調機器点検1回、建物衛生管理委託、自動ドア点検	実績値	館内清掃12ヶ月 夜間警備12ヶ月 水質検査2回 照明音響映像機器点検12回、ボイラ整備点検1回、空調機器点検3回、油タンク点検清掃1回、エレベーター点検12回他

予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
82,621	80,028,549				80,028,549

10款	教育費	5項	社会教育費	3目	図書館博物館費

事業名	図書館費	単位：円

事業内容	市民の様々な学習要求に応えるため、多くの図書資料や情報を収集・整理して図書資料の貸出し、読書相談、参考業務など読書活動の推進を図る。特にも「遠野市子どもの読書活動推進計画」に基づき、生きる力に満ちた明るく元気で行動力のある「遠野っ子」の育成を目指す。 このことにより、学校･家庭･地域との役割を認識し、連携、協力して読書に親しむ環境の整備と充実に努め、また読書に関する理解と関心を深める啓発活動を推進する。	計画値	①図書館の利用者数 18,300人 ②蔵書冊数174,200冊 ③市民への図書貸出冊数76,000冊 ④移動図書館車の貸出冊数5,800冊 ⑤学校図書館への貸出冊数12,000冊
成果	図書資料等の充実や図書館教室開催等の啓発活動によって、読書推進を図った。 ・図書館教室の開催(小学校7校）・多読者表彰の推進（2回）・調べ学習に対応した図書貸出（小中学校7校）・テーマ別図書展の開催(10回) ・ブックスタート（読み聞かせ等）の開催（12回)・読み聞かせの広場（12回）・移動図書館車の巡回運行（全地区対象）・施設貸出文庫の推進（小学校10校）	実績値	①図書館の利用者数 24,166人 ②蔵書冊数177,214冊 ③市民への図書貸出冊数107,407冊 ④移動図書館車の貸出冊数8,312冊 ⑤学校図書館への貸出冊数12,510冊

予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
23,156,000	22,975,977				22,975,977

10款	教育費	5項	社会教育費	3目	図書館博物館費

事業名	博物館費	単位：円

事業内容	市民の学習ニーズの多様化に対応し、登録博物館として郷土の歴史・文化の調査研究、資料の収集と保存及び記録を進める。また特別展・講演会を開催し、研究成果を広く市民に公開し発信する。	計画値	博物館入館者数 28,600人 博物館講座等受講者数 760人
成果	テーマ展示「遠野南部氏２８代義顔公」、「医学者　和田元庸」、特別展「思い出のチカラ」を開催し、遠野の情報を広く市内外に発信した。博物館講座及び博物館教室等を開催し、郷土の歴史、文化、民俗などの学習機会を提供し、市民の学習ニーズに答えた。	実績値	博物館入館者数 22,470人 博物館講座等受講者数 1,025人

予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
12,026,000	11,192,936			5,282,464	5,910,472

10款	教育費	5項	社会教育費	3目	図書館博物館費

事業名	博物館展示改修事業費	単位：円

事業内容	『遠野物語』発刊100周年記念事業として遠野市立博物館の展示リューアルを行う。 平成19年度　展示改装基本計画の策定 遠野の四季盤面交換 平成20年度　展示設計・建築設計 平成21年度　施工	計画値	展示改装実施設計
成果	平成22年度リニューアルオープンに向けた展示改装実施設計、図書館博物館改修実施設計を、計画どおりに実施することができた。	実績値	展示改装実施設計 図書館博物館改修実施設計

予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
35,228,000	35,227,500		20,500,000	13,600,000	1,127,500

10款	教育費	5項	社会教育費	3目	図書館博物館費

事業名	とおの昔話村管理費	単位：円

事業内容	とおの昔話村の維持管理と保守管理業務を委託する。 委託先　遠野アドホック株式会社	計画値	開村日数　365日 前年度入村者数 55,890人
成果	遠野に伝承されてきた昔話等の紹介と継承を通じて、遠野の文化を市内外に発信した。 開村日数　365日 来村者数　39,975人	実績値	開村日数　365日 20年度入村者数 39,975人

予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
16,783,000	16,063,950			11,384,774	4,679,176

10款	教育費	5項	社会教育費	3目	図書館博物館費

事業名	視聴覚教育振興事業費	単位：円

事業内容	生涯学習時代に対応し得る視聴覚教育のあり方を探求し、地域の視聴覚教育の向上に資するものである。また、県内10地区のライブラリーと連携を図り、視聴覚機材・教材の利用促進、情報提供等に努める。主要な施策は次のとおり ・視聴覚ライブラリー事業としての視聴覚機材・教材等の整備及び管理をする。 ・視聴覚機材・教材等の相互貸借の促進及び視聴覚教育の情報提供する。	計画値	①機材の貸出数80個 ②教材の貸出数70本 ③親と子の映画会12回 ④教材選定試写会1回 ⑤特別映画会8回
成果	視聴覚教育の向上に資した事業が推進された。 ・視聴覚機材及び教材の貸出し ・親と子の映画会の開催（12回） ・教材選定の試写会開催（１回） ・特別映画会の開催（11回）	実績値	①機材の貸出数96個 ②教材の貸出数86本 ③親と子の映画会12回（観賞者138人） ④教材選定試写会1回（教材選定9本） ⑤特別映画会11回（観賞者449人）

予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
885,000	855,484				855,484

10款	教育費	5項	社会教育費	3目	図書館博物館費

事業名	遠野物語研究所運営事業費	単位：円

事業内容	遠野物語研究所は「設立の趣旨」を推進するための拠点となるものであり、遠野市はその業務を委託した。 ・設立の趣旨=「民話のふるさと」「民俗学発祥の地」を標榜し築いてきた文化の基盤を一層強固なものとする。行政と民間の協調により『遠野物語』を中心とした歴史民俗文化の調査研究を深め市民文化としての普及を図る。また、遠野来訪者に対する研究支援などを行う。民間研究団体を中心に市民が多数参加できる文化活動を展開するなど市の活性化に努める。	計画値	遠野物語教室 開催18回 参加者300人 遠野物語ゼミナール 開催2回 参加者95人 遠野学会 開催1回 参加者50人
成果	遠野物語研究所運営事業（委託）の「設立の趣旨」に沿った事業が推進された。 ・『遠野物語』教室開催（8回） ・昔話教室開催（10回） ・『遠野物語』ゼミナール2008開催(6/24東京会場 8/23,24遠野会場) ・ 第13回遠野学会開催 ・「遠野物語通信第25号」の編集発行（1,000部） ・遠野物語研究所別冊「遠野物語と21世紀」編集	実績値	遠野物語教室 開催18回 参加者　414人 遠野物語ゼミナール 開催2回 参加者 398人 遠野学会 開催1回 参加者 44人

予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
4,944,000	4,944,000				4,944,000

10款	教育費	5項	社会教育費	3目	図書館博物館費

事業名	遠野城下町資料館管理費	単位：円

事業内容	遠野城下町資料館の維持管理と保守管理業務を委託する。 委託先　遠野アドホック株式会社	計画値	前年度入館者数 13,174人
成果	遠野南部家1万2千石の城下町である遠野の歴史と文化を市内外に発信した。 入館者数　9,765人	実績値	20年度入館者数 9,765人

予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
4,521,000	3,666,416			634,780	3,031,636

10款	教育費	5項	社会教育費	3目	図書館博物館費

事業名	遠野蔵の道ギャラリー管理費	単位：円

事業内容	遠野蔵の道ギャラリーの維持管理と保守管理業務を委託する。 委託先　遠野アドホック株式会社 創作活動室・市民ギャラリーの貸出 おもちゃの貸出	計画値	前年度入館者数 13,155人
成果	市民に芸術文化活動の発表の場を提供することにより、市民文化の向上に貢献した。 入館者数　10,299人	実績値	20年度入館者数 10,299人

予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
5,067,000	4,840,486			402,479	4,438,007

10款	教育費	5項	社会教育費	3目	図書館博物館費

事業名	博物館写真資料デジタル化整備事業費	単位：円

事業内容	博物館で保管している写真・フィルム７万点のデジタル化及びデータベース整備を行う。 平成20年度　デジタル化・データベース整備 平成21年度　データベースへの情報入力	計画値	７万点の写真及びフィルムのデジタル化・データベース整備
成果	博物館で保管している写真・フィルム７万点のデジタル化及びデータベース整備を行い、膨大なデータをパソコン上で検索することができるようになり、事務の効率化が図られた。	実績値	７万点の写真及びフィルムのデジタル化・データベース整備

予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
13,290,000	13,062,000		12,400,000		662,000

10款	教育費	5項	社会教育費	3目	図書館博物館費

事業名	宮守ゆうＹＯＵソフト館管理費	単位：円

事業内容	図書館の分館と位置づけ、市民の様々な学習要求に応えるため、多くの図書資料や情報を収集・整理し、図書の貸出しを中心に読書活動の推進を図る。また、施設の管理に係る業務を行う。	計画値	①利用者数900人 ②蔵書冊数10,500冊 ③貸出冊数1,800冊
成果	図書資料の充実や読書活動の推進によって、市立図書館分館としての機能・役割を果たすことができた。 施設管理：施設警備委託、電話機等賃貸借契約	実績値	①利用者数1,288人 ②蔵書冊数10,671冊 ③貸出冊数5,065冊

予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
1,798,000	1,602,993				1,602,993

10款	教育費	5項	社会教育費	4目	文化財調査保護費

事業名	文化財調査保護費	単位：円

事業内容	当市の貴重な文化財の調査・保護・啓蒙活動を通じて文化都市としての資質を高め、市民の文化向上を図ることによって精神的豊かさを提供する。 （１）指定文化財及び一般文化財の調査・保護啓蒙の実施 （２）郷土芸能の保護と育成	計画値	文化財の指定110件（累計） 文化財教室15回 〃　受講者数330人 民俗芸能団体数（累計）65団体 民俗芸能の映像記録団体数17件（累計）
成果	文化財の調査、保護保存にあたっては、仙台屋の主屋等６棟の調査等を実施した（平成20年７月８日、国の登録文化財に登録）。また、文化財への理解と関心を深めるため学習会等を開催した。 郷土芸能活動の推進にあたっては、郷土芸能の保存、伝承を図るため共演会の記録を行った。同じく、３団体の必要な用具等の整備を行った。また、郷土芸能の公開、発表の場を確保し民俗芸能の理解と認識を高めるため、共演会開催にかかる経費の一部を補助し、地域に伝わる無形文化財の継承に努めた。	実績値	文化財の指定132件（累計） 文化財教室14回 〃　受講者数359人 民俗芸能団体数（累計）65団体 民俗芸能の映像記録団体数16件（累計）

予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
5,230,000	4,490,802				4,490,802

10款	教育費	5項	社会教育費	4目	文化財調査保護費

事業名	埋蔵文化財発掘調査事業費	単位：円

事業内容	埋蔵文化財を発掘調査し分析することで、この地に生きてきた先人の足跡を明らかにし、未来を考える材料を得ることができる。 そのため、開発行為で消滅する埋蔵文化財包蔵地を事前に把握するため分布調査を実施し、必要に応じて工事立会や試掘調査を実施する。また、市内でこれまでに発見された膨大な量の遺物や、調査記録を適切に整理し管理する。そのための施設である文化課分室の維持・管理を行なう。事業実施のために非常勤職員を任用する。	計画値	開発行為に伴う分布調査・工事立会・試掘調査　一式 非常勤職員任用　２名
成果	・開発行為に伴う分布調査件数　35件 ・開発行為に伴う工事立会件数　1件 ・開発行為に伴う試掘調査件数　3件 ・遺物や調査記録を適切に整理し管理した （分室移転に伴い再整理を実施した） ・文化課分室の適切な維持・管理を行なった	実績値	開発行為に伴う分布調査　35件 工事立会　１件 試掘調査　３件 非常勤職員任用　２名

予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
5,344,000	5,019,120				5,019,120

10 款	教　育　費	5 項	社 会 教 育 費	4 目	文化財調査保護費

事 業 名	千葉家重要文化財指定整備活用事業費	単位：円

事業内容	文化庁の指導に基づき、重要文化財「千葉家住宅」の保全整備の方針をまとめるための資料を収集作成し、及び修復に向けて管理活用計画を作成するための検討を行う。 また、火災から建造物を守るため、自動火災報知機の設置を行うため、国庫補助申請に必要な資料の作成を行う。	計画値	・文献資料の調査と資料の収集 ・保全整備準備会の開催 ・修復概算事業費算出のための調査 ・自動火災報知機補助事業申請資料の作成
成果	・文献調査を行い、千葉家の建造物の成り立ち、歴史資料に記されている千葉家の状態について資料を収集した。 ・千葉家住宅保全整備準備会を開催し、委員の意見を取りまとめた。 ・修復に向けて修復概算費用の算出のため、文化財建造物保存技術協会により調査を行った。 ・自動火災報知機設置について、国庫補助事業を申請するための関係資料の作成を行った。	実績値	・文献調査及び資料　一式 ・保全整備委員会　1回 ・修復積算調査　1回 ・自動火災報知機国庫補助申請資料の作成　一式

予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
150,000	14,780				14,780

10 款	教　育　費	5 項	社 会 教 育 費	4 目	文化財調査保護費

事 業 名	遺跡分布調査事業費	単位：円

事業内容	平成17年度から４ヵ年計画で宮守町の遺跡詳細分布調査を実施している。遺跡詳細分布調査を実施して遺跡地図を作成することにより、埋蔵文化財保護の基礎資料を整備しようとするものである。 平成20年度は、これまでの調査の補足として達曽部地区を踏査する。地域の様相を知るために重要な遺跡について、試掘調査を実施する。調査の成果を報告書及び遺跡地図にまとめる。	計画値	補足踏査　一式 試掘調査　２遺跡 報告書　300部 遺跡地図　300枚
成果	・新規遺跡発見数　18遺跡 ・試掘調査件数　２遺跡 小屋畑遺跡－旧石器時代の炭化物検出 達曽部大畑遺跡－縄文時代の住居2棟検出 ・総括報告書の刊行　300部 ・新市遺跡地図の刊行　300枚	実績値	達曽部地区補足踏査 新規発見遺跡　18遺跡 試掘調査　２遺跡 報告書　300部 遺跡地図　300枚

予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
3,018,000	3,002,652	1,500,000			1,502,652

10 款	教　育　費	5 項	社 会 教 育 費	4 目	文化財調査保護費

事 業 名	遠野遺産認定事業費	単位：円

事業内容	市内にある文化的遺産、自然遺産を市民協働で次世代に守り伝え、活気ある地域づくりを推進するため、市民から推薦される地域資源を「遠野遺産」として認定し光を当て、遺産をめぐる活動を支援する。活動の支援は、地域生活課との連携により、活動に対する補助金の適用、活動に対する助言等を行う。	計画値	認定件数　20件 リーフレット発行部数　4,000部
成果	遺産の公募を１回実施、認定を行った。地域では保護活動の事業を実施した。広報のため遺産ガイドブック発行、配布した。 認定件数－27件（第3回） 広報パンフレットの発行－遺産周知用5,000部 遠野遺産制度視察・講話対応－5回（亀山市、菊池市、新庄市等） 補助金を活用した活動の実施－11事業（地域生活課と連携） 東北こんそコラボサミット2009地域づくり見本市への参加	実績値	認定件数　27件 リーフレット発行部数　5,000部

予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
540,000	276,406				276,406

10款	教育費	5項	社会教育総務費	4目	文化財調査保護費

事業名	文化的景観保存事業費	単位：円

事業内容	柳田國男の『遠野物語』を生み、人々が築き上げてきた本市独特の景観を将来に残し伝えていくため、国の重要文化的景観選定に向け、調査を実施する。	計画値	荒川高原牧場追加調査 荒川駒形神社保存計画書作成 重要文化的景観選定 土淵町山口集落調査
成果	馬産の守護神として重要な役割を担ってきた荒川駒形神社の境内・参道とその関連施設の調査を実施し、保存計画書を作成した。平成20年３月28日に「荒川高原牧場」が選定された国の重要文化的景観に、荒川駒形神社が平成21年２月12日に追加選定された。 また、柳田國男の『遠野物語』発祥の地であり、里山的な景観が保存されている土淵町山口集落の重要文化的景観選定に向け調査を実施した。	実績値	荒川高原牧場追加調査 荒川駒形神社保存計画書作成 重要文化的景観選定 土淵町山口集落調査

予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
2,020,000	2,001,482	1,000,000			1,001,482

10款	教育費	6項	保健体育費	1目	保健体育総務費

事業名	スポーツ健康一般事務費	単位：円

事業内容	・スポーツ健康課一般事務費 ・スポーツ振興審議会 ・遠野市体育指導委員活動 ・学校開放事業 ・全国市長会損害賠償補償保険	計画値	・学校開放事業実施 ・全国市長会損害賠償補償保険加入 ・体指定例会６回
成果	・学校開放事業を行い、市民へ学校体育施設の提供を行った。 ・全市民を対象とした全国市長会損害賠償補償保険へ加入 ・遠野市体育指導委員定例会６回開催	実績値	・学校開放事業実施（市内小中学校全校） ・全国市長会損害賠償補償保険全市民加入 ・体指定例会６回開催

予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
26,850,000	26,727,341			1,340,525	25,386,816

10款	教育費	6項	保健体育費	1目	保健体育総務費

事業名	競技・イベントスポーツプログラム推進事業費	単位：円

事業内容	・市のスポーツ振興並びに普及活動 ・各種スポーツ教室、子ども教室の開催及び支援 ・各種スポーツイベント開催及び支援 ・町民運動会開催への支援 ・遠野市体育協会並びに遠野市スポーツ少年団本部への補助金交付	計画値	・事業補助２団体 ・各種教室開催
成果	・遠野市体育協会へ補助金交付 ・遠野市スポーツ少年団本部へ補助金交付	実績値	・事業補助２団体 ・各種教室開催

予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
10,947,000	10,879,325				10,879,325

10款	教育費	6項	保健体育費	1目	保健体育総務費

事業名	ジュニアレベルアッププログラム推進事業費	単位：円

事業内容	遠野市の競技スポーツ力向上を図るため、競技種目ごとにジュニアスポーツクラブを育成支援し、さらにクラブの連合による競技型の総合型地域スポーツクラブとして、育成支援、一環指導システムの構築を推進する。	計画値	・事業補助　２団体 ・養成塾　１回 ・スポーツアドバイザー事業　２回
成果	・市内中学校野球部並びに野球スポーツ少年団を対象に、石井野球教室を開催し、少年野球のレベルアップを図った。 ４回　17日開催　延べ19チーム参加 ・市内スポーツ少年団、中学校、高校サッカー部を対象にトップレベルの指導者によるサッカー教室を開催し、競技力の向上を図った。 16回開催　延べ受講者人数1,411人 ・スポーツ少年団並びにジュニアスポーツクラブ等の指導者を対象としたスポーツリーダー養成塾を開催し、指導者の指導力向上に努めた。 ２回開催　延べ受講者数814名 ・市内小中学生を対象に、トップレベルの指導者を招聘し（スポーツアドバイザー事業）、スポーツレベルの向上を図った。 ２回開催　受講者数130名	実績値	・事業補助　２団体 ・養成塾　２回 ・スポーツアドバイザー事業　２回

予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
3,300,000	3,187,081				3,187,081

10款	体育費	6項	保健体育費	1目	保健体育総務費

事業名	岩手国体開催競技誘致事業費	単位：円

事業内容	平成28年に岩手県で開催が予定されている第71回国民体育大会のサッカー競技(少年男子の部)を誘致し、市のスポーツ文化の振興、普及並びに市民への健康づくりのさらなる推進を図る。	計画値	サッカー競技少年男子の部会場地誘致
成果	本市がサッカー競技少年男子の部会場地として内定した。	実績値	サッカー競技少年男子の部会場地内定

予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
200,000	146,440				146,440

10款	教育費	06項	保健体育費	02目	学校給食費

事業名	学校給食事業費	単位：円

事業内容	学校教育における給食は、成長期にある児童・生徒に栄養バランスのとれた食事を提供し、健康増進を図るとともに、望ましい食習慣の養成、好ましい人間関係の形成などを目標としている。目標達成のために、「地産地消」及び「食育」の推進、学校訪問及び栄養指導、衛生管理に取り組んだ。 年間の給食実施回数：小学校170回、中学校168回 給食供給人数：2,645人	計画値	年間供給食数 447,644食 米飯日数　小　130回 中　129回 パン日数　小　40回 中　39回 学校給食食材に占める地場産物使用割合 29%
成果	文科省通達「学校給食衛生基準」等を遵守し、衛生管理を徹底し、安全で安心な給食の提供に努めた。また、遠野で生産される食材を積極的に利用し、地場産品の消費拡大を図るとともに、「遠野旬を食べよう給食」を年４回実施して、郷土の食文化や地域で採れる農産物への理解を深めた。学校栄養職員が学校を訪問し、栄養指導等（各学校年２回、宮守は各学級年１回）を行い、食事のマナーや望ましい食習慣などの意識付けがなされた。	実績値	年間供給食数 447,644食 米飯日数　小　130回 中　129回 パン日数　小　40回 中　39回 学校給食食材に占める地場産物使用割合 37.9%

予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
278,622,000	269,320,419			122,293,976	147,026,443

10款	体　育　費	6項	保健体育費	3目	体育施設費

事業名	体育施設管理費（一般）	単位：円

事業内容	市が所有する体育施設の維持管理を行う。平成19年７月からは指定管理者制度を導入し民間活力を生かした施設の管理運営を実施することにより、より質の高いサービスの提供に努める。 また、不具合箇所の早期修繕を実施し、安全な施設の提供に努める。	計画値	施設利用者数 219,000人
成果	施設の適正な維持管理に努めた結果、大きな事故等もなく施設の利用提供ができた。 また、市からの委託業務の他に指定管理者が独自にスポーツ教室等を開催したことに伴いサービスの充実が図られた。施設利用者数については、冬期間に実施された市民プール改修工事によりプール利用者は減少したものの、全体的には計画値を上回った。	実績値	施設利用者数 220,934人

予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
87,837,000	87,481,861			4,416,750	83,065,111

10款	体　育　費	6項	保健体育費	3目	体育施設費

事業名	体育施設管理費（単独）	単位：円

事業内容	市民プールの改修工事を行う。 市民プール改修工事 内訳・内外壁改修工事 ・プール槽、プールサイド塗装工事 ・ろ過１号塔修繕	計画値	計画工事数　１件
成果	市民プールの改修工事を行った。 市民プール改修工事　37,356,900円 内訳・内外壁改修工事 ・プール槽、プールサイド塗装工事 ・ろ過１号塔修繕	実績値	実施工事数　１件

予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
37,357,000	37,356,900		35,400,000		1,956,900